

平成17年度 桶脇地域ふれあい市民会議（8月5日開催） 進捗状況一覧

議題	地区	議題内容	所管課	回答概要	進捗状況（H17年度末）	進捗状況（H19年度末）	地区振 興計画	H18当 初予算	H20当 初予算	事業 完結分
1	藤本	市道菖蒲ヶ段岩下線の幸橋の架け替え	建設整備課	文化財等の審議も含め、今後、調査研究	回答概要のとおり。	橋梁取付部等の地権者の協力が得られていない状況である。				
1	藤本	幸橋架け替え後のゆうゆうバスの運行	商工振興課	運行ルートの見直しを検討	橋梁架け替え後に、利用者の需要予測を踏まえながら検討したい。	前回同様。				
2	藤本	藤本滝（農村公園を含む）及び周辺の観光開発	観光課	大規模な開発については厳しい状況	回答概要のとおり。	回答概要のとおり。				
2	藤本	藤本滝（農村公園を含む）及び周辺の観光開発	耕地課	大規模な開発については厳しい状況	平成18年度「宝くじ桜」配布事業申請中である。（林務水産課所管）	新たな観光開発については、考えていない。				
3	藤本	携帯電話の受信エリアの拡大	情報政策課	通信業者に対し、既存サービスエリアの品質改善の働きかけ及び基地局の調整	回答概要のとおり。	平成18年度に事業者単独（au）で整備し、平成19年4月26日運用開始している。 なお、関連要望のあった野下地区については、既存サービスエリアの品質改善の働きかけを行っている。				
4	野下	ふるさと公園の新設	耕地課	生産基盤整備を行うことにより農産物直売所、農村公園等も同時に実施できる補助事業がある。地元の協力が必要	H17.9.30振興計画策定委員会において、土地改良連合会を招き「元気な地域づくり交付金」事業等の説明を実施した。	具体的な事業選定まで至っていない。				
4	野下	ふるさと公園の新設	建設整備課	個人の土地を市が無償で借り上げ、広場として整備できる事業があるので検討してほしい	回答概要のとおり。	回答概要のとおり。				
5	野下	AEDのコミセンへの配備	地域医療対策課 (市民健康課)	公共施設等への配備については管理形態、利用頻度等を勘案しながら、現在検討中	18年3月現在、本庁、各支所ほか17ヶ所の公共施設に機器を配備し、18年度においても更に計画的に配備予定。市民が迅速な救命活動を行えるように、各地域、事業所等において延べ83回、AED操作を含む普通救命講習会を実施中。	平成19年3月現在、71台配備済み。 野下地区コミュニティセンター設置済み（平成18年） AED操作を含む普通救命講習会の実施回数 平成19年度 118回実施 / 2,191名受講				
6	野下	五反田川堤防の道路整備及びサクラの植樹	建設維持課	2級河川であり、県と協議の結果舗装工事は不可能。植樹については、自然のままが良好ではないか	回答概要のとおり。	回答概要のとおり。				
6	野下	野下地区に市営住宅を建設	建築住宅課	公営住宅ストック活用計画の見直しの中で、全市の計画を立案していく	公営住宅ストック活用計画(案)では、借上型地域振興住宅として対応する計画である。	建設用地の確保しだい、平成20年度・平成21年度のいずれかで、借上型地域振興住宅を建設予定である。				
7-1	市比野	県道川内郡山線の工事再開	建設政策課	今後も県に要望していく。用地の確保等地元協力を願いたい	要望継続中。	「事業中箇所を進捗状況など緊急性を見極めながら検討したい。」との県回答				
7-2	市比野	城之下一周線・上之湯新開線整備の進捗	建設整備課	用地取得並びに補償交渉等を実施中であり、今後も継続的に実施していく	市道城之下一周線・上之湯新開線とも、H18年度改良舗装工事を実施予定。	・城之下一周線：地権者の同意が得られない。また、筆界未定地の解決が図られない。 ・上之湯新開線：権利者の同意（解決）が得られていない。裁判等により近い将来に解決予定と聞いている。				
7-3	市比野	林道新ヶ倉1号線の整備	林務水産課	平成18年度の事業再開に向けて進めている	19年度事業再開となる。	全体計画を作成し、測量設計委託及び開設工事を実施した。 全体計画 延長：1,300m、幅員：4.0m 事業期間：19～22年度 19年度実績 延長：600m、幅員：4.0m				
7-4	市比野	県道335号線下之湯三文字交差点の拡幅工事及び付近の損壊家屋の撤去	建設政策課	地元の支援のもと関係地権者の同意が得られれば県へ実施の要望をしたい。路面の舗装・補修については、9月に実施されるのではないか	舗装補修は完了。	廃屋の撤去は完了（注意看板設置済み）。 改良については土地、家屋権利者所在不明のため中断中。				

平成17年度 樋脇地域ふれあい市民会議（8月5日開催） 進捗状況一覧

議題	地区	議題内容	所管課	回答概要	進捗状況（H17年度末）	進捗状況（H19年度末）	地区振興計画	H18当初予算	H20当初予算	事業完結分
8	市比野	県道川内加治木線の丸山公園入口の交差点に信号機を設置	防災安全課	樋脇地域の交通安全協会関係支部、本部、事務局とも連携して県警本部に設置要望を上げてまいりたい	平成17年9月30日に、市、警察署、道路管理者、交通安全協会関係者立会いのもと道路診断が実施され、川内警察署を通じて、鹿児島県公安委員会へ上申されたところである。	薩摩川内警察署を通じて、県公安委員会へ毎年（平成18・19・20年）上申しているところであるが、優先順位と予算の関係で現在のところ設置は未定。				
8	市比野	市道村子田鹿子田線の拡幅	建設整備課	道路拡幅について地権者、関係者のご理解を得られるようであれば、事業化も検討したい	H18において、地権者等の確認を実施予定。	・H20より補助事業として、西之原橋を含む約200mを施行予定。 ・路線測量設計：完了。 ・橋梁実施設計：繰越事業にて実施中				
9	市比野	市比野温泉杯サッカー大会の支援	観光課	当大会のように補助金の波及効果が高いものについては、是非とも継続できるよう支援、バックアップしていきたいと考えている	平成18年度も引き続き実施する。	平成19年度も引き続き実施する。				
9追加	市比野	丸山グラウンドの給水設備の整備及び芝コートの追加整備	建設整備課	補助制度はないのか、あるいは、合併特別債等は充てられないのか、いろいろと検討をしたい	平成18年度において、給水設備を整備する。芝コートについては検討を行う。	平成20年度にて人工芝整備予定。				
10-1	樋脇	樋脇地区の農道整備の促進	耕地課	現地調査を行い、補助事業で取り組む以外のものは、原材料支給により地元の方の負担を少なくする方向で進めてまいりたい	原材料費を前年度のみ予算確保し、農道整備を行う。	引き続き、原材料支給や市単独舗装工事を行った。				
10-1	樋脇	道路愛護作業の支援及び台風通過後の倒木等の処理の支援	建設維持課	無理のない可能な範囲で実施していただき、実施できなかった場所については、市へご連絡いただきたい	地元等で不可能な箇所は、市で行いますのでご連絡ください。	実施できない箇所は連絡いただければ市で対応している。				
10-2	樋脇	県道川内祁答院線、杉馬場～永利間の拡幅	建設政策課	今後も県に要望していく。用地の確保等地元との協力をお願いしたい	現在 地形図による法線等概算設計中であり 現地測量等詳細設計には入れていない。	「事業中箇所の進捗状況を見極めながら検討したい。」との県回答				
10-3	樋脇	県道42号線の塔之原祿北北における事故防止の対策	建設政策課	現段階においては運転者に注意を促す看板を設置している状況。今後、何らかの方策が取れないか、検討、協議していきたい	調査要望を継続中。	完了				
11	樋脇	塔之原1区多目的集会所の避難所指定の再検討	防災安全課	他の地区からも要請を受けているので、全避難所を職員が再度現地調査を行い、安全性を確認した上で対応したい	現在、市全域について避難所の見直しを行っているところである。見直し案については、地区で確認をいただいた上で、平成18年5月には、防災マップで皆様方にお知らせする予定である。	水害の危険性から、避難所の指定を外したところである。（平成18年）				
11	樋脇	指定管理者制度の導入に伴う集会所の維持管理のあり方	コミュニティ課	指定管理者制度での応募の方法、審査の基準、管理費用については、議会での議決と併せ検討していく	コミュニティ課が所管する集会所の管理形態方針を指定管理者制度から直営管理に変更し、今後、貸付や払い下げ、廃止などの見直しを検討する。	補助金適正化法に係る協議が整っていないため、関係団体との具体的協議を行っていない。				
12	樋脇	今後の農業の全般的な振興計画	農政課 (農政畜産課)	市全体の農業計画について農業振興地域の見直し作業に着手している。この中で、農業振興計画を策定する予定で作業を進めている	現在合併時の農業振興地域について、合冊での作業が終了したところであるが、平成18・19年度で作成する予定であり、同時に検討したい。	農業振興基本計画（農業振興ビジョン）については、平成19年度で策定したところであり、農業振興地域整備計画については、平成19年度の基礎調査結果を踏まえて、平成20年度に見直す予定である。				
13-1	倉野	地区内限定で放送のできるような防災行政無線の整備	防災安全課	平成18年度に実施する予定。地区内限定の放送は他地区からも要望があり、検討中	防災行政無線の整備計画では、平成18年度から整備を行う計画であったが、文字と音声で情報伝達ができ、また、地区コミ放送や自治会放送用としても活用できる新システムが開発されており、その他のシステムも含めて、現在、総合的に研究を進めているところである。今後導入システムを決定し、年次的に整備していくこととしている。	平成19年度末に基幹部（親局から屋外拡声子局の設計・施工〔屋外拡声子局は市内業者発注〕）の整備に関する入札を行い、現在、実施に向けた設計を行っております。平成20年度で基幹部整備を完了し、平成21年度から各戸に戸別受信機を設置する予定であります。その際、地区内限定放送が可能なものを検討しております。				
13-1	倉野	情報伝達手段としてのケーブルテレビの整備	情報政策課	新設の経費及び運営経費が多額となり、費用負担なども大きな問題。研究課題としたい	回答概要のとおり。	回答概要のとおり。				

平成17年度 桶脇地域ふれあい市民会議（8月5日開催） 進捗状況一覧

議題	地区	議題内容	所管課	回答概要	進捗状況（H17年度末）	進捗状況（H19年度末）	地区振興計画	H18当初予算	H20当初予算	事業完結分
13-2	倉野	議会中継の録画及び録画媒体の貸し出し	議会事務局	技術的には可能。今後前向きに検討したい	本年度は、現行の映像配信について、要望のあったテロップ表示等を検討し、3月議会から対応することにした。録画等については、来年度議会運営委員会等で協議したい。	インターネットによる議会中継及び録画放映の導入を検討することとし、録画媒体の貸し出しにつき、併せて検討したい。				
13-3	倉野	コミセン設置の映像ライブラリを使っての情報発信	情報政策課	映像受信施設から情報発信するには、映像の作成、映像ライブラリへの登録作業等が発生するので、今後の研究課題としたい	回答概要のとおり。	回答概要のとおり。				
14-1	倉野	倉野地区の大豆栽培への支援	農政課 (農政畜産課)	水田農業構造改革交付金の中で、地域実情等を考慮しながら支援し続けたい	倉野地区については平成17年度同様、平成18年度も助成金額を決定しているところであり、今後も支援を検討していきたい。	倉野地区については、平成19年度も大豆に対する交付金を交付している。平成20年度も交付単価に対する作付面積に基づき交付したい。				
14-2	倉野	特産品加工施設の整備及び直売所設置の支援	農政課 (農政畜産課)	積極的に県と協議しながら、事業の導入を検討したい。直売所については、設置場所の施設が農協管理であるため、側面的に支援したい	特産品加工施設のひとつである大豆を利用して、豆腐製造機械について県単事業を導入すべく調整中である。	平成18年度導入済みである。				
15-1	倉野	消防局と消防団の連携、情報の周知徹底	消防局	情報収集体制の確立と、局と消防団の相互連携及び支所との密なる連携を図りたい	会議・訓練等を通じ、消防局・消防団・支所が一体となり災害時における連携を確認し、情報の伝達・周知徹底を図り、情報の共有化を図っているところである。	平成19年度に消防団無線を配備、また団員には災害メールを配信し、災害情報の伝達周知は図られてきている。また、会議・訓練等を通じ、消防局・消防団・支所が一体となり情報の共有化も図っているところである。				
15-1	倉野	自主防災組織と消防団の連携	防災安全課	自主防災組織は、災害時消防局などが到着するまでの間、被害の拡大を防ぎ、力を合わせて活動する。また、地域での防災意識の啓発を行う	地域の消防団員は、自主防災組織の一員として、日頃の予防活動には大いに参画し、自主防災活動のリーダーとなり、防災知識の普及、防災訓練時の指導や防災関係機関との連絡等に当たることになる。本市は、国・県に比べ自主防災組織の結成率が低いことから各自治会に自主防災組織の結成をお願いしたい。	自主防災組織結成後は、連絡網の整備や避難計画の作成、避難訓練等の実施をすることとなる。消防団員は、地元における、防災・減災の知識・技能を有した者であり、避難計画や実施訓練において指導・支援することができるため、消防団員との連携が重要である。また、消防局は、訓練の協力・支援を推進している。現在、自主防災組織率は73.5%であり、平成18年のナナフミ水害時から結成率が上がっているところである。結成後の活動支援として消防局による訓練指導を行っている。				
15-2	倉野	地区の無蓋防火水槽の有蓋化	消防局	防火水槽、指定消防水利等の調査を現在実施しているので、地主の方、地元自治会、消防団と協議をしながら、危険防止の対策を講じたい	調査結果を基に、指定消防水利1箇所は解除させていただいた。しかし、どのような経緯で設置されたか分からない無蓋防火水槽もあり、引き続き調査していきたい。なお、無蓋水槽は有刺鉄線等で危険防止措置は施してある。	消防指定水利等の調査を実施しその結果を、地主の方、地元自治会、消防団と協議をしながら対応していきたい。有蓋化工事については、市内各地区から要望が出ており、優先順位をつけて実施しているところである。なお、無蓋水槽は有刺鉄線等で危険防止措置は施してある。				
その他		各地域の特色ある行政を目指して、市長が単独で付けられる予算の確保	財政課 (財務課)	予算編成については、苦慮しているのが実情。ご意見のとおり、特色ある地域は伸ばしていかなければならないと考えている。	-	市長が単独で、各地域に十分な予算を付けられるだけの財源確保は難しいが、ご意見のとおり、地域の特色は伸ばしていく必要があると考えている。				
その他		市街地へのバスの接続及び乗車賃	商工振興課	コミュニティバスの在り方について、バス会社とも協議をしながら検討しているところである	本年7月から70歳以上の高齢者へ公共交通利用促進補助券を4,000円分交付予定。入乗乗合タクシーと路線バスとの接続を改善することによって、市街地アクセスを図りたい	市街地へのバス運行については、各支所管内と市街地を結び循環バスをバス会社等と協議、検討を進めるところである。				
その他		少子化対策としての子育て支援	福祉課 (子育て支援課)	若い人たちに、たくさん子どもを産み、そして子育てをしてもらえるような子育て支援が必要	児童手当、乳幼児医療費助成、紙おむつ支給、チャイルドシート、育児手当等の経済支援を継続するとともに、今後、「育児リフレッシュ事業」を実施することにより子育てに係る精神的負担感の軽減と情報の提供を図るものである。	児童手当、乳幼児医療費助成、すくすくベビー券支給、チャイルドシート助成、育児手当等の経済支援を継続するとともに、育児リフレッシュ事業を実施することにより子育てに係る精神的負担感の軽減と情報の提供を図るものである。				
その他		鷹ノ巣冷泉に指定管理者制度を用いるメリット	観光課	今までより安い経費での運営、民間へのビジネスチャンス、市職員の効率化配置	平成18年度より指定管理制度による管理代行の実施	実施中				

平成17年度 入来地域ふれあい市民会議（8月19日開催） 進捗状況一覧

議題	地区	議題内容	所管課	回答概要	進捗状況（H17年度末）	進捗状況（H19年度末）	地区振興計画	H18当初予算	H20当初予算	事業完結分
1	副田	温泉場地区土地区画整理事業の今後の見通し	入来区画整理推進室	工事も進めながら、今後整備を行うところの整備のしかたについて検討を行う。検討結果が整理できた段階で、地元説明会を行いたい	工事については、本年度予定箇所の整備を進めているところで、今後の整備の検討については、検討結果の整理を行っているところである。	工事・建物移転補償等については、本年度予定箇所を実施。都市計画の変更決定に基づき、事業計画変更の手続きを行っているところである。				
2	副田	観光道路の整備・建設	観光課	観光資源を連携・関連して結びつけるために、観光協会で観光ルートコンテストを実施することになっている	平成17年10月に観光ルートコンテストは実施した。	・平成17年10月に観光ルートは実施した。市内旅行バック造成事業により、入来地域へのコースを実施している。				
2	副田	観光道路の整備・建設	建設整備課	市道諏訪線から蘭牟田池を結び市道入来愛宕線について、幅員の狭い箇所は側溝整備で対応し、待避所等については計画的に実施したい	H18において、状況調査等を行いたい。	・緊急性や優先等を勘案し、今後の施工としたい。				
3	副田	副田地区コミュニティセンターの早期移転	コミュニティ課	平成18年4月1日を目前に、アゼ口湯から入来文化ホール別館に移転し、同時に地区公民館としての機能も移転する予定である	平成18年4月1日からの使用に向け条例改正、ネットワーク構築工事等の環境整備を実施している	完結				
4	清色	県道山田入来線の早期改良	建設政策課	県では、平成17年度は測量設計及び関係機関と協議中であり、平成18年度から着工したいということであった	川内土木事務所道路維持課において平成18年度 工事予定である。	事業中（清色橋橋台）				
5	清色	伝統的建造物群保存地区と清色場史跡指定地区の整備計画	文化課	まだ城跡全体が公有化されていないため、具体的な整備計画は今後検討することになる。当面は、用地取得に努めたい	今年度の用地購入は、18筆（55,011㎡）を取得した。伝建地区保存修理事業は、2邸宅を修理した。	平成19年度の用地購入は、9筆（30,915㎡）を取得した。伝建地区保存修理事業は、3物件を修理修景した。				
6	清色	松山温泉団地の追加整備	企画政策課	各地域で宅地造成等の要望が出されるが、全市的な観点から、新たな宅地造成・分譲事業を直ちに行う考えはない	-	-				
7	朝陽	自治会再編と未加入者対策	コミュニティ課	自治会合併について、行政の助言や支援の要請等があれば、十分に対応したい。未加入者対策は、加入促進のハガキ送付等により対応したい	毎月前月の異動者に対して加入促進ハガキを送付、2月には未加入者に封書にて加入促進文書を送付して未加入者対策をおこないました。また、県宅地建物取引業協会北摩支部幹部の皆さんと意見交換会を開催。	前年度同様加入促進ハガキの送付や、自治会異動連絡表によって自治会長に周知を図っている。なお、案内文書の改善を行った。				
8	朝陽	県道42号線（市野々入口・朝陽小下・天貴美付近・蒲生原入口・堂園カーブ等）の道路整備	建設政策課	危険な状況となる箇所については、県へ対策を要望したい	県にて調査検討中。	天貴美住宅前の横断歩道は整備済み				
8	朝陽	地区内の市道改良	建設整備課	市道松下田線については、地区内で整備順位の検討を。市道長牟田線については、来年度以降工事施工をしたい	回答概要のとおり。（長牟田線のみ地区振興計画・H18当初予算）	・市道長牟田線：L=140m施工済。				
9	朝陽	朝陽地区での農業集落排水事業の実施	下水道課	旧入来町において検討された結果、経済的な問題、地域的な特性、市財政負担の観点から、合併処理浄化槽設置を推進したい	回答概要のとおり。	回答概要のとおり。				
9	朝陽	合併処理浄化槽設置時の補助	環境課	合併により補助額を変更、経過措置を設け、平成18年度から全市域統一した取扱いとなる。単独処理浄化槽からの切替え時も補助がある	平成17年度実績 入来地域・・・30基（5人槽・・・18基、7人槽・・・11基、10人槽・・・1基、単独切替・・・3基）	平成19年度実績 入来地域・・・30基（5人槽・・・22基、7人槽・・・8基、単独切替・・・2基）				
10	大馬越	公営住宅建設	建築住宅課	本年度実施する公営住宅ストック活用計画の見直しの中で、全市的な計画をしていく	公営住宅ストック活用計画(案)では、非現地建替の計画であり、今後、実施に向け検討する。	建替事業については、非常に厳しい状況である。実施内容及び時期等については実施計画のなかで検討していきたい。				
11	大馬越	地区内の道路の拡幅	建設整備課	交通安全上支障のある箇所等については計画的に対応したい。要望路線が多いことから、地区内の整備順位を検討いただきたい	回答概要のとおり。（H18において、現地調査等を実施する。）	・橋梁の現地調査を実施し、緊急性等があるためH20年度予算要求。（市道長野線）				

平成17年度 入来地域ふれあい市民会議（8月19日開催） 進捗状況一覧

議題	地区	議題内容	所管課	回答概要	進捗状況（H17年度末）	進捗状況（H19年度末）	地区振興計画	H18当初予算	H20当初予算	事業完結分	
12	大馬越	国道道の改良整備と合わせたきんかんの里ふれあい館への駐車場の整備	農政畜産課（農政課）	現在の駐車場ではどうしても足りないということになれば、道路の整備を含め、国県等と調整して参りたい	現在これまでの経緯もふまえて支所と協議中であるが、必要性等を整理しながら状況を検討したい。	財政的にも、現駐車場の拡張については、厳しい状況である。現駐車場の有効的な活用による集客に努めていただきたい。					
12追加	大馬越	きんかんの里ふれあい館と道の駅の違い	建設政策課	道の駅は、サービスの提供、施設の位置、バリアフリー化された施設や情報を提供する案内コーナーがあるかなど基準を満たしたものだ	-						
12追加	大馬越	国道328号の路線変更	建設政策課	国から、きんかんの里ふれあい館付近の改良は終了したとの回答を受けており、土地を駐車場として用いることは今の段階では難しい	回答概要のとおり。	右折レーン設置を要望中であり、今後も引き続き要望したい。（国道328号整備促進期成会にて）					
13	八重	地区内の幹線市道の早期改良	建設整備課	市道武田・水戸線は、実施に向け鋭意努力したい。市道八重線の計画箇所及び待避所等の必要な箇所については計画的に整備したい	H18において市道武田・水戸線については、測量設計・橋梁調査等の業務委託を実施予定。市道八重線については、改良舗装工事を計画している。	・市道草渡水戸線：完結。 ・市道武田水戸線：樋脇町側より用地補償実施中 ・市道八重線：L=253m施工済。H20完了予定				一部完結	
14	八重	八重地区コミセンの改修について	コミュニティ課	倉庫の設置は、コミュニティ助成事業を検討いただきたい。入口のバリアフリー化は、スロープの設置や階段手すり等の設置で対応したい	倉庫の設置については19年度コミュニティ助成事業の希望を出して頂くよう調整している。また、入口のスロープ化については18年度事業で実施予定。	平成18年度のコミュニティ助成事業により倉庫設置済み。					
15	八重	電気柵設置補助の拡大及び害獣防除柵支給の拡大	農政課（農政畜産課）	電気柵は、県単事業に採択されない小規模なものでも市で補助事業を実施。防護ネット等は補助対象でないため電気柵を活用いただきたい	平成16年度より、イノシシで市単独事業（30a）を導入したところであるが、林務水産課関係事業（シカ）もあるので、併せて利用していただくようPRしていきたい。	平成19年度から、農林産物をイノシシやシカ等の被害から防止するため、電気柵や防鳥ネット等も設置する「イノシシ等被害防止電柵導入事業補助金」制度を新規に導入した。対象農地等の要件も10a以上で個人でも補助対象。なお、平成19年度は23箇所設置された。					
その他	大馬越	大馬越地区における温泉施設の整備	企画政策課	地区振興計画の中に盛り込んで、温泉が掘削できるかどうか、知恵を出し合っていただきたい。市での整備は現在は難しい	-						
その他		温泉場地区土地区画整理事業があと何年かかり、いくらかかるのか	入来区画整理推進室	旧入来町での事業計画では、財政の担当と事業を推進する課との整合性が取れていなかった。一部計画を見直して進めてまいりたい	検討を行っているところである。	都市計画変更（区域・道路・用地）の決定を終え、事業計画変更に向け、国・県・地元と協議を進めながら事業推進を図っている。					
その他		給食サービスの打ち切り	高齢・障害福祉課	合併後3年間は実施するが、食の自立支援事業において、真に必要な方にサービスを提供するという趣旨のもと、基準を設けている	平成18年4月から、利用者・利用基準などを全市域統一し、真に必要な方へサービスを提供する。	平成18年4月から虚弱な高齢者を対象として、高齢者訪問給食サービス事業を実施中。					
その他		肺がん検診での待ち時間	市民健康課	どういう人員配置だったのが等を担当と話をし、できるだけ待ち時間を少なくして、受診に来られた方に迷惑をかけないようにしたい	待ち時間ができるだけ少なくなるよう日数、会場等の設定を検討中。	健診時間を地区割にした。					
その他		市街地へのバス運行	商工振興課	バス会社とも話をしながら、各地域の路線をうまくつなぐ方策や、均一運賃バスについて研究しているところである	本年7月から70歳以上の高齢者へ公共交通利用促進補助券を4,000円分交付予定。ゆうゆうバスと路線バスとの接続を改善することによって、市街地アクセスを図りたい	市街地へのバス運行については、各支所管内と市街地を結ぶ循環バスをバス会社等と協議、検討を進めるところである。					
その他		青年団の育成支援	社会教育課（生涯学習課）	それぞれが自分のできる範囲内で地域づくりに参画しましょうということを地区コミュニティ協議会でも呼びかけていただきたい	青年層が、地区コミュニティ協議会の青少年部会として地域行事に参加しているところもあり、機会あるたびに参加を勧めているところである。	青年層が地区地域の活動に参画している地域もある。随時必要に応じて必要性を唱えていきたい。また、活動費などは提案公募型補助金を紹介している。					
その他		市のホームページの充実	広報室	できるだけ新しいものを掲載していくよう努力したい	回答概要のとおり。	より見やすく、使いやすいホームページを目指し、リニューアルした。できるだけ新しいものを掲載していくようこれからも努力したい。					

平成17年度 入来地域ふれあい市民会議（8月19日開催） 進捗状況一覧

議題	地区	議題内容	所管課	回答概要	進捗状況（H17年度末）	進捗状況（H19年度末）	地区振興計画	H18当初予算	H20当初予算	事業完結分
その他		地区コミュニティ協議会の横の連携	コミュニティ課	市が積極的に動くわけにもいかないが、必要性は皆さん感じておられると思うので、バックアップをしていかなければいけないと考えている	48地区のコミュニティ協議会長の相互交流・情報交換等のために、全体連絡会を2回、各地域での連絡会を2回開催する計画である	平成19年5月に設置した協議会長の相互交流・情報交換等のために、連絡会全大会を年2回、各地域での連絡会を年4回開催している。				
その他		コミュニティ助成事業	コミュニティ課	毎年10月前に希望調査があるので、事業要望が地域であれば、お問い合わせいただきたい	平成18年度も各自治会及び地区コミュニティ協議会へ要望調査を実施し、翌年度事業の計画があれば、申請書等を提出していただきたい。	平成19年度も実施した。 平成20年度も各自治会及び地区コミュニティ協議会へ要望調査を実施し、翌年度事業の計画があれば、申請書等を提出していただく。				
その他		自治会文書の印刷の有料化	コミュニティ課	紙は地域で購入し、印刷は実費を負担をしていただきたい旨の文書を出したが、周知期間を設け、来年度から行うなど伝える必要があった	-	実費負担により印刷していただいている。				
その他		基本検診における希望受診	市民健康課	持ち帰って検討したい	各種検診は、受診者数を見込んで健診日数、車両台数を確保する必要上申込方式をとっているため、当日受診を受け入れた場合の検診体制への影響などを検討中。	当日受付も可能にした。				
その他		5カ年計画の説明	企画政策課	総合計画基本計画のことであり、地区振興計画も参考にしながら、計画を策定する。内容は広報紙でも詳しく説明してまいりたい	総合計画基本計画は、地区振興計画を参考にして策定中である。具体的には48地区コミから出された3,000余りの事業の中から29項目を登載している。 策定後は、広報紙等で説明したい。	総合計画上期基本計画策定済（H18.3）				
その他		護国神社の慰霊祭		慰霊祭等の寄付については、憲法の政教分離の精神に反するので、市から指導するというのではなく、各自治会で考えていただきたい	-	-				

平成17年度 東郷地域ふれあい市民会議（5月10日開催） 進捗状況一覧

議題	地区	議題内容	所管課	回答概要	進捗状況（H17年度末）	進捗状況（H19年度末）	地区振興計画	H18当初予算	H20当初予算	事業完結分
1	藤川	藤川天神周辺の市道改良及び市営駐車場の整備	観光課	駐車場の利用は12月から3月までがピークと考えられ、年間の利用頻度から新たな整備・拡張は難しい。	整備等の計画なし	市道本俣線の改良については、優先順位が後になっている。駐車場については、藤川小学校及び臨時駐車場を設けて対応している。				
1	藤川	藤川天神周辺の市道改良及び市営駐車場の整備	建設整備課	市道本俣線は幅員が6m以上あり、通常の車の離合等には支障がなく、拡幅改良を行う考えはない。観梅時期等の一時的な渋滞については、白線により車の的確な誘導を図りたい。	H17 外側線（白線）施工済（完結）					
2	藤川	市内全域を対象とした藤川小学校の特認校制度の導入	学校教育課	学校・保護者・地域の方々の意向も踏まえながら、平成18年度から新しい特認校制度を取り入れたい。	平成18年度から川内地域から東郷地域の特認校へも通学できるように制度の拡充を行った。	平成18年度から川内地域の一部から東郷地域の特認校へも通学できるよう制度の拡充を図った。				
2	藤川	市内各小学校との交流事業の推進・市内留学助成制度の導入	学校教育課	交流事業については「春夏秋冬」事業、市内留学助成制度については「ふるさと留学制度」を実施している。	ふるさと留学制度については、市内全域で運用できるように検討中である。	テレビ会議システムや「春夏秋冬事業」を活用した交流活動が可能である。留学制度の新たな導入については、現時点では考えていない。				
3	藤川	集落農場の推進及び藤川農作業受委託管理組合の法人化に向けた支援体制	農政畜産課（農政課）	農業生産法人等、法人の指導については、本庁農政畜産課が窓口となり、各支所畜産課や農業委員会及び県関係機関と連携を取る体制である。	会議等の開催について支所を通じてあげていただければ対応していきたい。	組織内で話し合い活動による経営を行いながら、状況向上に向けた支援を継続している。 平成19年3月「農事組合法人 元気ふじかわ」が設立された。 ・役員会 18回/年 開催 ・水稲作付 6ha その他作物 2.6ha ・役員会でのアドバイスや営農・経営支援を支所を中心に関係機関で実施。				
4	南瀬	小学校の合併問題	学校教育課	現時点での統廃合は考えていない。	現状維持、特に協議の必要なし	現時点での統廃合は考えていない。今後の通学区域の見直しや学校の適正規模の在り方等については、薩摩川内市立学校通学区域・適正規模等審議会で審議中である。				
5	南瀬	道路愛護作業の支援	建設維持課	無理のない可能な範囲での作業をお願いしたい。未作業区間については、市で予算の範囲内で対応してまいりたい。	道路伐採については、予算の範囲内で実施した。	維持班の設置により対応してきた。予算の範囲内で実施した。				
6-1	南瀬	国道267号南瀬下公民館下付近の道路整備促進	建設政策課	国道267号改良促進期成会や新たに設立予定の土木協会においても要望を行いたい。	川薩地域土木事業連絡協議会でも提案しているところである。	川内川激特事業（南瀬地区）と併せて事業中である。（用地事務）今後も引き続き要望していきたい。				
6-2	南瀬	市道南瀬中央線の早期完成	建設整備課	側溝を整備し、蓋をかけることや現道のオーバーレイ舗装等により整備を進めたい。	H17年度、昨年改良部分の舗装と、改良舗装を実施、H18も工事実施予定	市道南瀬中央線：L=96m 施工済				
7-1	山田	県道山田入来線山田小学校付近の整備促進	建設政策課	県への要望、また新たな土木協会においても要望を行いたい。	要望は、継続的に実施しているが、厳しい予算状況のため事業着手の見通しは、立っていない。	「事業中箇所を進捗状況を見極めながら検討したい。」との県回答、今後も引き続き要望していきたい。				
7-2	山田	県道東郷山田宮之城線浦田地区の道路改良早期着工について	建設政策課	これまでも年次的に整備が進められていることから、今後も継続して整備が進められるよう県に要望したい。	本年度も継続的に実施予定である。	「事業中箇所を進捗状況を見極めながら検討したい。」との県回答、今後も引き続き要望していきたい。				
8	山田	市営住宅建設	建築住宅課	この地区は、公営住宅の整備率が市平均と比べて非常に低く、整備の必要は認識している。平成17年度に公営住宅ストック活用計画を策定するので、その中で具体的な方法や実施時期を検討してまいりたい。	新規住宅の整備は難しい状況。民間活力を活用した借り上げ方式による住宅整備を検討したい。	借上型地域振興住宅2棟2戸建設				
9	山田	携帯電話の不感地域解消	情報政策課	国・県・市・事業者の負担による整備と、県・市・事業者の負担による整備がある。市内の不感地域の世帯数や状況、設置費用等を勘案して、計画的で効果のある整備を実施したい。	事業者により移動通信用鉄塔施設が整備され、9月末までには運用開始が予定されている。	事業者単独（ドコモ）で整備し、平成18年7月28日運用開始している。				

平成17年度 東郷地域ふれあい市民会議（5月10日開催） 進捗状況一覧

議題	地区	議題内容	所管課	回答概要	進捗状況（H17年度末）	進捗状況（H19年度末）	地区振興計画	H18当初予算	H20当初予算	事業完結分
10	鳥丸	とうごう五色親水公園の整備・利用促進	観光課	現在ある施設を有効活用し、ソフト面を充実させるのが課題。とうごう五色親水公園も含めた全体的な観光ルートの開発に努めたい。	観光ルートコンテストで3ルートが応募されているので、周辺の観光農園等との連携を図り、ルートの推進に努めたい。平成18年6月1日から指定管理開始となるので指定業者との連携をとる。	指定管理者の自主事業として、河川のせせらぎを利用して「うなぎのつかみ取り」を実施したりして、利用促進のためのソフト事業を行っている。また、桜を植栽するなどして訪れやすい環境をつくっている。この公園は、年間約1万8千名の利用があり、近辺のぶどう観光農園及びソーマン流し等との連携もとれている。				
11	鳥丸	宅地造成及び市営住宅建設	企画政策課	民間業者との兼ね合いや、現在市で管理している宅地は売れ残っている状況から、宅地分譲を市で行う予定はない。	現時点では宅地の新規造成分譲を行う予定はないが、定住促進部会等で検討する。	現時点では新規造成分譲を行う予定はない。				
11	鳥丸	宅地造成及び市営住宅建設	建築住宅課	既存の小規模市営住宅の再編等を含め、平成17年度に策定する公営住宅ストック活用計画の中で検討してまいりたい。	本地区にある鳥丸住宅は、老朽化が著しく用途廃止して同規模程度を一般住宅として建替える計画である。実施については、今後庁内で調整を図っていく。	建替事業については、非常に厳しい状況である。実施内容及び時期等については実施計画のなかで検討していきたい。				
12	鳥丸	バス運行の見直し	商工振興課	新市にふさわしいバス運行計画をつくるため、公共交通ネットワークを構築する計画である。	新市にふさわしいバス運行計画をつくるため、公共交通ネットワークを構築中であり、早い時期にゆったりバスと川内地域市街地を結ぶ路線バスとの連携がとれるようにしたい。	新たなコミュニティバスとして、北部循環バスを東郷支所まで乗入れる実証運行を昨年12月より開始した。				
12	鳥丸	公用車（マイクロバス）の使用について	財産活用推進課 (財産活用推進室)	地区コミが主催する行事での公用車（マイクロバス）の使用は道路運搬法に抵触する。研修会等でのバス使用を計画するときは、地域振興課と協議していただきたい。	市の主催・共催でない、地区コミだけの主催行事には、使用は難しい	道路運送法に抵触しないよう、薩摩川内市バス使用規則に基づき、市が主催又は共催する行事で使用許可している。				
13	斧淵	斧淵地区コミュニティセンターの移転（県の果樹試験場の跡地（一部））	コミュニティ課	地理的条件、交通の便等から現在の位置が最適と思われる。高齢者に利用しづらいということであれば、ホームエレベーターの設置等も含め、今後検討したい。	進捗無し	その後の要望等はない。				
13	斧淵	斧淵地区コミュニティセンターの移転（県の果樹試験場の跡地（一部））	農政課 (農政畜産課)	果樹試験場移転計画は平成21年以降ということであり、いつ移転するか明確でない。	県の所有地であり現在いつ移転するのが把握していない。	現在においても、移転時期が明確でない。				
14	斧淵	地区コミュニティ協議会への支援充実	コミュニティ課	地区コミ関連の補助事業 コミュニティ助成事業 長寿社会づくりソフト事業 地区コミュニティ協議会運営補助金 日本花の会	要望調査実施、現在のところ要望無し 今後活用していきたい。平成18年度は17年度と同額	平成19年度より、運営補助金の特別加算を実施。その他、コミュニティ活性化補助事業やコミュニティ助成事業の活用による支援を行っている。				
15	斧淵	東郷大橋（仮称）の建設（とうごう苑の下司野の辺りから対岸へ架ける）	建設整備課	多額の財源を必要とすることから近い将来に実現することは不可能だが、御提案いただいたことに感謝したい。	回答の通り、実施の予定無し。（完結）					
その他		市民活動を対象とした保険を市が一括で掛けてほしい	コミュニティ課	市民活動災害補償保険に加入している。コミュニティ課あるいは地域振興課にお尋ねいただきたい。	17年度全地区コミ及び全自治会加入し、18年度も同様。					
その他		卒業式では、壇上での祝辞の代読を	学校教育課	小学校の入学式では、新入生は落ち着いてられないので、お祝いの電文のような形式をとらせてもらっているため、壇上には上らず読んでいます。	従来どおり	従来どおり。				
その他		農業祭やフェスタを行う際の活性化補助金について、平成18年度はどうなるのか	コミュニティ課	事業計画と補助金執行状況がどのようになっているかを評価しながら、今後策定する地区振興計画のなかでできるだけような事業があれば、それを強く市長に提案したい。	地区コミ活性化事業が、18年度から創設される。2/3以内、20万円補助限度					

平成17年度 東郷地域ふれあい市民会議（5月10日開催） 進捗状況一覧

議題	地区	議題内容	所管課	回答概要	進捗状況（H17年度末）	進捗状況（H19年度末）	地区振興計画	H18当初予算	H20当初予算	事業完結分
その他		農業祭やフェスタを行う際の活性化補助金について、平成18年度はどうなるのか	農政課 (農政畜産課)	農業祭への補助金については、効果・必要性を勘案しながら、平成18年度以降どう取り組んでいくか考えたい。さつま川内農協とも協議を行っている。	市の産業祭に補助金を出し、広く市民の方に産業祭に参加してもらうことで計画している。	平成17年度～20年度までは川内地域・旧4町地域の2会場で実施 平成17年度・・・入来町・川内地域 550万円 平成18年度・・・樋脇町・川内地域 550万円 平成19年度・・・祁答院町・川内地域 500万円 平成20年度・・・東郷町・川内地域 500万円 平成21年度以降は川内地域と旧4町地域を一体的に、1箇所での開催予定である。				
その他		5月10日時点で設立している地区コミュニティ協議会の数	コミュニティ課	市内48地区において、4月中に設立済である。	答弁のとおり					
その他		ふれあい市民会議は来年以降継続して開催されるのか	広報室	年間10回のペースで行うことを予定している。	奇数年度は川内地域、偶数年度は支所地域を主にし、隔年で開催する予定。					
その他		市役所の駐車場不足について	建設整備課	隈之城川沿いを公園化し、駐車もできる場所として整備中である。7月から利用できる予定であるので、今しばらくお待ちいただきたい。	H17 整備済 H17.7から、時間貸し82台分、月決205台分を整備（完結）					
その他		川内川アクアフロント協議会の会議の結果を地区コミュニティ協議会にまわせないか	企画政策課	御提案のとおり至急とりまとめ、関係地区には紙媒体で連絡するようにする。	各地区コミへのアクアフロント計画等は配布済み。					
その他		船倉の通りにある街灯につける薩摩川内市の旗をつくってもらえないか	-	東郷支所で作ることを検討しているようである。	17年6月作成済み。舟倉町内会引渡済み					

平成17年度 祁答院地域ふれあい市民会議（5月10日開催） 進捗状況一覧

議題	地区	議題内容	所管課	回答概要	進捗状況（H17年度末）	進捗状況（H19年度末）	地区振興計画	H18当初予算	H20当初予算	事業完結分
1	轟	地区振興計画とむらづくり活性化計画との整合性	コミュニティ課	むらづくり活性化計画を踏まえた地区振興計画の策定をお願いしたい。	轟地区の地区振興計画については、H17、10月に策定済。	H17、10月に策定済み。				
2	轟	集落道（轟木線、世永瀬線、末吉線）・農道（鍋田線、宇都前線、西ヶ迫線）の整備	耕地課	県営中山間地域総合整備事業での採択は難しい。農業生産基盤事業の拡充を図り、再度協議していきたい。	中山間地域総合整備事業での採択を検討した結果、轟木線、宇都前線、西ヶ迫線については計画路線として搭載された。他の3路線については今のところ計画していない状況である。	轟木線は平成19年度測量設計が終了、西ヶ迫線は、平成20年度測量設計の予定、宇都前線については、は場整備と同時に実施する予定になっており、検討中である。				
3	轟	宅地分譲・市営住宅の建設	企画政策課	民間業者との兼ね合いや、現在市で管理している宅地は売れ残っている状況から、宅地分譲を市で行う予定はない。	現時点では宅地の新規造成分譲を行う予定はないが、定住促進部会等で検討する。	現時点では新規造成分譲を行う予定は無い。				
3	轟	宅地分譲・市営住宅の建設	建築住宅課	新規住宅の整備は難しい状況。民間活力を活用した借り上げ方式による住宅整備を検討したい。	借上型住宅の整備には、まず地元からの要望が不可欠であるが、地元の入居希望者の状況を伺いながら検討して参りたい。	借上型住宅の整備については、地元からの要望及び入居希望者の状況を伺いながら検討して参りたい。				
4	轟	自主防災組織への支援内容	防災安全課	結成時にハンドマイク1台、避難誘導旗2本1組を貸与。平成17年度中に各地区コミセンに救急箱を配付予定。	結成時にハンドマイク1台、避難誘導旗2本1組を貸与。平成17年度中に各地区コミセンに救急箱を配付した。また、自主防災組織の活動見本となるパンフレットを各自治会長へ配布した。	結成時：ハンドマイク1台、避難誘導旗2本1組を貸与。 運営・活動：自主防災組織の運営・活動についての出前講座を実施し、支援・協力しています。				
4	轟	無線連絡システム整備の平成18年度からの補助対象地域としてほしい	防災安全課	平成22年度に、祁答院地域にデジタル無線設備を整備する計画があるので、市で整備するまで待っていただきたい。	現在、防災行政無線の整備について調査・検討中であるので、決定するまで今しばらく待っていただきたい。	平成19年度末に基幹部（親局から屋外拡声子局）に係る入札を実施、平成20年度に基幹部の整備を行い、その後、全戸に戸別受信機（地域内限定放送を可能なもの）を整備する考えである。				
5	轟	高台地区の簡易水道の補強（水量不足）	上水道課	今後水圧調査を行い、何らかの対策を検討していく。	水圧調査実施済。増圧ポンプ設置用地を確保し、現在設計段階である。10月中の発注を目指している。	平成18年度完結				
6	黒木	1戸建て公営住宅の整備及びミニ分譲宅地の造成	企画政策課	民間業者との兼ね合いや、現在市で管理している宅地は売れ残っている状況から、宅地分譲を市で行う予定はない。	現時点では宅地の新規造成分譲を行う予定はないが、定住促進部会等で検討する。	現時点では新規造成分譲を行う予定は無い。				
6	黒木	1戸建て公営住宅の整備及びミニ分譲宅地の造成	建築住宅課	新規住宅の整備は難しい状況。民間活力を活用した借り上げ方式による住宅整備を検討したい。	借上型住宅の整備には、まず地元からの要望が不可欠であるが、地元の入居希望者の状況を伺いながら検討して参りたい。	借上型住宅の整備については、地元からの要望及び入居希望者の状況を伺いながら検討して参りたい。	○			
6	黒木	地区児童クラブの運営助成	子育て支援課（H17福祉課）	平成16年度の額には届かないが、平成17年度当初の額からは増額できる見込み。具体的な金額や時期が分かり次第連絡したい。	17年12月に補正増額した。	児童クラブに対しては、県の補助事業として取り組み、県の要綱に基づき、公平・平等に助成を行うとともに予算措置しているところである		○		
7	黒木	県道堂山宮之城線及び川内祁答院線の未整備地区の早期整備	建設政策課	堂山宮之城線について、平成18年度以降に要望区間の整備ができないか県と協議したい。川内祁答院線については、用地確保の目処がつけば、県に要望を行いたい。	平成18年度一部着工予定である。	「事業中箇所の進捗状況を見極めながら検討したい。」との県回答、今後も要望を継続していきたい。				
8	黒木	地域内の福祉団体の自主運営活動への支援	福祉課（高齢・障害福祉課・子育て支援課）	市町村合併の動きに合わせて、市域内の類似団体で統合・合併に向けた協議を積極的に進めていただくことで、組織の衰退防止になるのでは。	身障福祉協議会、母子寡婦会は合併済、老人会は薩摩川内老人クラブ連合会として広域的に合併済み					
8	黒木	地域内の福祉団体の自主運営活動への支援	高齢・障害福祉課	市町村合併の動きに合わせて、市域内の類似団体で統合・合併に向けた協議を積極的に進めていただくことで、組織の衰退防止になるのでは。	類似団体との統合による自主運営を図っていただくことにより、必要なものと考えている。	身障福祉協議会は合併済、老人会は薩摩川内市老人クラブ連合会として広域的に合併済。				

平成17年度 祁答院地域ふれあい市民会議（5月10日開催） 進捗状況一覧

議題	地区	議題内容	所管課	回答概要	進捗状況（H17年度末）	進捗状況（H19年度末）	地区振 興計画	H18当 初予算	H20当 初予算	事業 完結分
9	黒木	農業公社の事業内容	農政畜産課 （農政課）	新規就農者の育成・農作業の受委託・農地保有合理化を主要事業としている。	新規就農者の研修事業は平成17年度3名の応募があり研修を実施している。 農作業受委託作業については、水稻の防除を中心に、ライスセンター・茶工場との作業を実施している。初年度計画についてはほぼ達成している。 農地流動化については、県の農地流動化合理化法人の認定を受けた後、認定農業者を中心に担い手に農地の流動化を推進している。	新規就農者の研修事業は、2名が研修を終了し就農している。農作業受委託作業については、水稻防除を中心にほぼ計画どおり達成している。農地流動化については、推進活動を展開している。				
10	上手	大村高校跡地の有効活用について	財産活用推進室 （財産活用推進課）	旧祁答院町の「保健医療福祉の誘致」という方針を受け継ぎ、地域の意見も参考にしながら、温泉掘削工事の結果を踏まえて考えていきたい。	保健・医療・福祉・健康に関する事業の用に供することを条件に売却することとしている。 現地説明会：平成18年4月25日（火） 入札執行日：平成18年7月13日（木） 最低売却価格：93,000,000円	当該土地については、地域密着型サービス事業用施設及び温泉施設の用に供することを目的に、平成19年度に売却した。 平成20年1月から施設運営開始予定である。				
11	上手	桜公園整備の今後の見通し	建設整備課	芝生広場・東屋等は平成16年度にほぼ完了。公園に行くための久富木川への歩道橋整備については、財源や橋梁の位置等を踏まえて前向きに実施に向けて検討したい。	H17 整備済	平成18年度に護岸整備、平成19年度に取付道路及び防護柵整備。平成20年度にトイレ設置予定				
12	上手	県道下手山田帖佐線の整備促進について	建設政策課	今後とも早期整備に向け要望活動を行ってまいりたい。	平成18年度一部着工予定である。	事業中（上手地区）・・・用地事務 今後整備促進を要望していきたい。				
13	上手	分譲住宅の建設	企画政策課	市で分譲住宅の建設や宅地の造成を行う考えは今のところない。	現時点では宅地の新規造成分譲を行う予定はないが、定住促進部会等で検討する。	現時点では新規造成分譲を行う予定は無い。				
14	大村	河川清掃の支援	建設維持課	作業可能な範囲で実施していただき、未作業区間については予算の範囲内でして実施したい。	河川管理（除草）久富木川の一部、瀬早川の一部 市管理（浚渫）宇ヶ石川の一部、井料川の一部	河川管理（除草）については、一部実施していただいておりますが、河床整備（浚渫）については、予算の都合もあり実施困難な状況にあるようです。市としても引き続き要望してまいります。 市管理河川においては、年次的に予算の範囲内で実施する計画です。 河川管理河川の除草については、一部実施していただいておりますが、河床整備（浚渫）については、予算の都合もあり実施困難な状況にあるようです。市としても引き続き要望してまいります。 市管理河川においては、年次的に予算の範囲内で実施する計画です。				
15	大村	水田の取水施設（井堰）の整備	耕地課	要望の箇所が一級河川であること、また過去の河川改修の際に補償された場所であること、井堰の設置による水利権等の問題があるので、河川管理者と協議を進めてまいりたい。	河川管理者（県土木事務所）に協議したところ過去に補償した経緯はあるものの、概略図等を用いて協議してほしいとのことであった。受益者の皆さんに協力いただきながら現地調査を行い協議を継続していきたい。	河川管理者（県土木事務所）と現地を調査した結果、地元からの要望箇所（青良原田堰）については、河床が低く転倒堰への要望については、構造上設置できない状況であると判断した。今後は、現在の揚水機等の維持管理を行う農地・水・環境保全対策事業や中山間直接支払い制度等を活用し診断や修繕等を行っていくよう地元とその旨説明しご理解をお願いした。				
16	大村	林道の整備（林道天理線から広段に抜ける林道の新設）について	林務水産課	当該地区は薩摩川内市森林整備計画及び薩摩川内市実施計画に搭載していないため、早急の開設は難しい。	路肩の補修やぬかるみについては、コンクリート舗装及び砕石等の散布予算で対応している。 完結	平成17年度と同様、当該地区は薩摩川内市森林整備計画及び薩摩川内市実施計画に搭載していないため、早急の開設は難しい。				
17	大村	大村団地の周辺整備（トイレ・桜の植樹等）	建設整備課	桜の植樹は、自治会や利用団体等で寄付していただければありがたい。トイレの整備については、分譲及び住宅の建築状況やゲートボール場の利用頻度をみながら財政状況等を踏まえて検討したい。	利用者状況をみながら検討する。	平成18年度に護岸整備、平成19年度に取付道路及び防護柵整備。平成20年度にトイレ設置予定				
18	大村	大村町商店街とバイパス通りとの調和のとれた町並みの整備	商工振興課	イベントや地元の特産品を活かした事業や、観光地との連携を活かした集客の方法など、ソフト面から商店街の活性化を図っていただきたい。	ソフト面からの商店街活性化に向けて、商業者の取組みや行政の係わり方について、検討中である。	左記のとおり				

平成17年度 祁答院地域ふれあい市民会議(5月10日開催) 進捗状況一覧

議題	地区	議題内容	所管課	回答概要	進捗状況(H17年度末)	進捗状況(H19年度末)	地区振興計画	H18当初予算	H20当初予算	事業完結分
19	大村	県道宮之城祁答院線の整備	建設政策課	県道整備は本庁と支所とを連絡する路線を優先して整備していただくよう県へ要望しているところである。地域の皆さんの力を借りながら、地権者の同意を得られるよう努めたい。	県の財政状況も厳しく、事業着手は、見通しが立たないが、今後とも強く要望していきたい。	「事業中箇所の進捗状況を見極めながら検討したい。」との県回答、今後も要望を継続していきたい。				
20	蘭牟田	蘭牟田千貫岩の落石防止対策	林務水産課	崩落防止の施工が県土木部及び川内農林事務所では実施できないとのことであったので、再度現地調査を行い、川薩農林事務所と協議中である。	17年度表側については崩落防止工事実施。裏側については、18年度県営で実施予定。	県営での実施を要望しているが、実施は未定である。				
21	蘭牟田	県道405号線(久富木~蘭牟田線)の道路改良の促進について	建設政策課	県道整備は本庁と支所とを連絡する路線を優先して整備していただくよう県へ要望しているところである。離合箇所の設置や1.5車線の整備などを協議・検討し、県に要望したい。	県の財政状況も厳しく、事業着手は、見通しが立たないが、今後とも強く要望していきたい。	「事業中箇所の進捗状況を見極めながら検討したい。」との県回答、今後も要望を継続していきたい。				
22	蘭牟田	市営住宅の建設または分譲宅地の造成	建築住宅課	新規住宅の整備は難しい状況。民間活力を活用した借り上げ方式による住宅整備を検討したい。	借上型住宅の整備には、まず地元からの要望が不可欠であるが、地元の入居希望者の状況を伺いながら検討して参りたい。	借上型住宅の整備については、地元からの要望及び入居希望者の状況を伺いながら検討して参りたい。				
その他		農家への補助金を1人からでも受けられるようにしていただきたい	農政課 (農政畜産課)	持ち帰って協議し、地域によって取扱いを変えるなどの方策も考えていきたい。	国・県の補助事業については個人補助金は現在ない状況にある。個人については融資事業で対応している。市単独事業では認定農業者育成事業で、1名からの補助事業を実施している。	個人で実施できる事業は、市単独事業の「認定農業者育成事業」のみでありましたが、平成19年度からは「イノシシ等被害防止電柵導入事業」を導入した。なお、今後も、個人で実施したほうがより効果が高い補助事業については、随時検討していきたい。				
その他		商工会の合併に対する支援	商工振興課	問題があればぜひご相談いただきたい。お互いに知恵を絞って、いい方策が見出せるようにしたい。	平成19年4月1日の合併に向けて各商工会が積極的に協議を進めているところであり、合併に向けて市としても支援していきたい。	平成19年4月1日合併				

平成17年度 里・上甌地域ふれあい市民会議（5月27日開催） 進捗状況一覧

議題	地区	議題内容	所管課	回答概要	進捗状況（H17年度末）	進捗状況（H19年度末）	地区振興計画	H18当初予算	H20当初予算	事業完結分
1	里	里地区消防車庫の耐震強度について	消防局	現在、市内全域の車庫詰所の実態調査を行っている。調査結果を基に優先度・緊急度等を考慮して整備計画を策定し、順次整備していく。	里地区の消防車庫は、旧里村において平成8、9年度に設計・施行され、増築部分の構造は鉄筋あるいは鉄骨コンクリート造で増築整備されていることを消防局も現地確認している。 市内全域の車庫詰所の実態調査を行っていることであり、まだまだ簡易な消防車庫も存在していることから、分回の再編状況と併せ実態調査の結果を基に優先度・緊急度等を考慮しながら整備計画を策定中である。	里地区の消防車庫は、旧里村において平成8、9年度に設計・施行され、増築部分の構造は鉄筋あるいは鉄骨コンクリート造で増築整備されていることを消防局も現地確認している。 市内全域の車庫詰所の実態調査を行ったところ、まだまだ簡易な消防車庫も存在していることから、実態調査の結果を基に優先度・緊急度等を考慮しながら、順次整備していく。				
2	里	上ノ原地区用水路の整備	耕地課	水路整備、管理のあり方については耕作者と協議し、車両借り上げて対応できる所、原材料の支給等で修繕のできる所など、現場に応じた方法で対応したい。	平成18年度県単土地改良トータルプラン調査により手法を検討することとしている。	総合的基盤整備に向けて検討中である。				
3	里	大林農道拡幅・側溝改良	耕地課	現在のところ、農作業に支障があるとは見受けられない。舗装等の破損箇所については、早急に修繕で対応したい。	通行に支障なく現状のまま。農道補修については耕地課予算で対応予定。	平成19年度で舗装修繕工事完了				
4	里	市道江石・里線の早期整備	建設整備課	全線改良は市の財政上難しいので、拡幅改良・離合場所の設置などの検討をしてみたい。	H18に側溝整備等を行う予定。	H19年度予算及び15ヶ月予算にて施工。				
5	里	里町西海岸既設護岸の調査及び対策	建設維持課	護岸の一部にひび割れが見受けられる。近いうちに護岸が倒壊するような恐れはないが、対策等については県に要望してまいりたい。	離岸堤の消波機能で直接護岸への影響は少ないため、早急の改良は予定していないが県の財政状況を考慮し対策等をすすめると回答を得る。	離岸堤の消波機能で直接護岸への影響は少ないため、早急の改良は予定していないが県の財政状況を考慮し対策等をすすめると回答を得る。				
6	里	海岸に打ち寄せられる流木等について	建設維持課	当面一箇所に仮置きし、今後の処理方法を関係機関と協議したいと考えている。	現在、処理方法を関係機関と協議を行っています。	現在、処理方法を関係機関と協議を行っています。				
7	里	法務局を以前の状態に戻してほしい	行政改革推進課	法務局の移転は登記所の適正配置計画に基づく結果であると聞いている。出張相談の数を増やすなどの対応をしていただけるよう法務省に要望したい。	現在の出張相談（土地登記関係）が、年数回、支所単位で行われている。今後も継続して実施されるよう、要望を続けていく。	平成19年度は上甌島、下甌島それぞれ8回、計16回出張相談を開催した。 平成20年度は、7回及び6回を開催予定である。				
8	里	高速船シーホークの運賃及び学生手帳の提示による学割	企業・港振興課（H17商工振興課）	運賃の改定は会社経営に直結する問題であるので、今後、状況を見ながら要望していきたい。学割についても御提案のように要望していきたい。	甌島商船の経営は厳しい状況にあり、また国土交通省から運賃改善の指摘も受けているような状況の中での、運賃の値下げは難しい状況にある。	燃料油の価格高騰によりフェリーについては調整金の導入を行なったが、高速船については本市から会社への要望もあり導入は見送られた。学割については、会社と協議を行なったが「Rと同じ「学校長の証明」により割引を行なっているとのことであり、学生証の提示のみによる割引は困難とのことである。				
9	里	小型船の陸揚げ機設置	建設整備課	設置が必要か、既設の港湾施設等で対応できないものか等、漁協や関係機関と連携をとりながら、今後調査していきたい。	回答の通り。	回答のとおり				
10	里	里港（殿崎付近）への防波堤の新設	建設整備課	相当な事業費を要するため、費用対効果などでハードルは大変高いと思われる。なお現在、東港の防波堤の改良を行っており、その効果が期待されるので、とりあえずその様子を見たい。	回答の通り。	回答のとおり				
11	里	種子玉地区の土地改良整備	耕地課	事業化するにしても、湧水の解消、低地の軟弱層の問題、排水不良等々を総合的に検討し、判断する必要がある。川薩耕地事務所の知恵も借りながら検討を進めたい。	平成18年度県単土地改良トータルプラン調査により手法を検討することとしている。	総合的基盤整備に向けて検討中である。				
12	里	長崎農道を市道大川・牧の辻段線につなげてほしい	耕地課	農道は、農作業用及び農業生産物の搬出用の道路であるので、今後畑地利用が図られるようであれば、検討する必要がある。また、近接地に水源があり、現在の状態で守りたいという意見もある。	沿線に守るべき農地がなく、また連結性もないため事業化を見送る。	同左				
13	里	県道瀬上・里線の整備	建設政策課	整備区間の早期整備と未整備区間の整備区間への取り組みについて県へ要望したい。	整備区間については、18年度も県単道路整備で発注予定。	継続整備中 今後も引き続き要望していきたい。				

平成17年度 里・上甌地域ふれあい市民会議（5月27日開催） 進捗状況一覧

議題	地区	議題内容	所管課	回答概要	進捗状況（H17年度末）	進捗状況（H19年度末）	地区振興計画	H18当初予算	H20当初予算	事業完結分
14	里	旧国民宿舎跡の管理	観光課	取り壊しには多額の経費を要し、また近隣住民からは台風の風除けとして残してほしいという要望もある。立ち入り制限及び看板を設置したので、子どもたちの立ち入りには注意していただきたい。	現在の管理を継続する。	現在の管理を継続する。 旧国民宿舎は、普通財産になり、財産活用推進課へ所管替をしています。				
14 その他	里	旧国民宿舎跡の別な用途での利用	観光課	建物の老朽化が進んでいるので、現状では難しい。	現在の管理を継続する。	現在の管理を継続する。				
15	上甌	市道中甌・江石線の道路改良（トンネル整備）	建設整備課	事業には20億円必要と試算されており、現在の市の財政を考えると早急には実施できない。	回答の通り。	回答のとおり				
16	上甌	携帯電話不感地域の解消	情報政策課	auがアンテナを整備中。今後NTTドコモ、au、ボーダフォンのいずれかの業者により住家地域にサービスが提供される予定。	不感地域であった江石地区、桑之浦地区をauが整備し、全地域において事業者1社以上よりサービスが提供されている。					
17	上甌	中野地区の砂防ダム建設	建設維持課	今後、国・県の機関に砂防ダムの建設を要望してまいりたい。	引き続き関係機関へ要望してまいります。	引き続き関係機関へ要望してまいります。				
18	上甌	中野地区への防火水槽設置	消防局	現在ある消火栓は有効な水圧が確保できる状況にあり、中野地区は上甌地域の他の地区に比べ、消防水利は恵まれているといえる。	当該地区の消防水利の状況は、他地区と比較し良好であることから防火水槽は設置しないことで回答している。（地区振興計画では要望なし）	当該地区の消防水利の状況は、他地区と比較し良好であることから防火水槽は設置しないことで回答している。				
19	上甌	大良川の整備について	建設維持課	大雨と大潮時と重なると暗渠の出口が水没するため、どの部分から排水をするのかがいかに等の調査検討をする予算を要求することを考えている。	平成17年度に委託設計を行いました。 今年度から排水路整備工事を行います。	排水路整備はH19年度完了。 舗装工事についてはH20年度で事業完了予定。				
20	上甌	桑之浦地区市道ガードパイプの腐食	建設維持課	早急に補修する。	平成17年度に58m、取替工事を施工した。 今年度も引き続き取替工事を施工してまいります。	H18年度で腐食箇所の取替工事は完了。				
21	上甌	平良地区字岩屋奥川の災害復旧について	建設維持課	護岸の大きな決壊はないようだが、贈破を防ぐ目的として単独災害復旧事業で対応したい。また、体積土砂については土砂の多い箇所から除去したい。	平成17年度に補修工事を施工したが、その後の大雨で崩壊箇所が発生したため、今年度に予算の範囲で補修をする予定です。	護岸の決壊はない。川の浸食箇所については補修工事が完了。				
22	上甌	蘭牟田瀬戸架橋について	建設政策課	架橋実現に向け、要望活動や情報収集に努めるなどこれまで以上に積極的な活動を推進したい。	3月31日事業決定。平成18年度より本格的調査開始。	調査・測量・設計中 （H19年度末から用地買収中） 今後、引き続き要望していきたい。				
23	上甌	旧平良小学校舎の利用	教育総務課	使用頻度の少ない教室もあるが、教育上必要な施設であるので御理解いただきたい。	平成18年度も引き続き、特別教室として使用する。3学級に対する特別教室数は、文部科学省の基準で最低4教室以上であるが、本校舎の特別教室数は3教室であるため、引き続き本年度も旧校舎を理科室・音楽室・図工室・生活科室等として使用する予定である。	平成20年度も引き続き、特別教室として使用する。3学級に対する特別教室数は、文部科学省の基準で最低4教室以上であるが、本校舎の特別教室数は3教室であるため、引き続き本年度も旧校舎を理科室・音楽室・図工室・生活科室等として使用する予定である。				
24	上甌	空き家になっている教職員住宅の利用	教育総務課	育休代替職員用などとして、当分は空き家で管理を行っていききたい。	平成18年度の上甌地区の教職員住宅の空家は、小中4校で36戸の保有に対し7戸が空家の状況。学校別にみれば、平良小が9戸に対し3戸の空き、次が浦内小の4戸に対し2戸の空きとなっている。ただ、教職員住宅については、性質上簡単に教職員以外に貸し出すことが難しい（教員の増が発生した場合に、それまでの入居者に退去を求められない）ので、今後の教職員数の変動を十分見極める必要がある。そのため、今年度中の転用は予定していない。	上甌地区の教職員住宅のうち、今後入居が見込まれない住宅7戸を、平成19年度に一般住宅へ用途変更した。その結果、現在における空家の状況は、上甌地区小中4校で29戸の保有に対し、6戸である。ただし、教職員住宅については、性質上簡単に教職員以外に貸し出すことが難しい（教員の増が発生した場合に、それまでの入居者に退去を求められない）ので、今後の教職員数の変動を十分見極める必要がある。				
23	上甌	旧平良待合所の利用	企業・港振興課 (H17商工振興課)	甌島商船平良代理店に貸し出しており、待合所はバスの待合所として使われている。	左記と同じ	左記と同じ				
24	上甌	女性団体（上甌女性会連絡協議会）への補助について	生涯学習課	現在補助金については見直しを行っている状況であり、それを踏まえて今後検討したい。	女性団体は現在合併協議中であり、補助も市単位の団体へ一元化していくことになっている。個々の女性団体への補助はなくなった。	市地域女性団体連絡協議会に補助しており、同会より補助が得られることとなった。				

平成17年度 里・上甌地域ふれあい市民会議（5月27日開催） 進捗状況一覧

議題	地区	議題内容	所管課	回答概要	進捗状況（H17年度末）	進捗状況（H19年度末）	地区振興計画	H18当初予算	H20当初予算	事業完結分
25	上甌	支所職員の勤務時間内でのイベント等への協力	総務課	勤務時間内については、職員は職務専念義務を負っており、協力が困難な場合もありうる。休日の行事については、地区の活動への参加は積極的にすすめたい。	左記（前答弁）と同じ	左記（前答弁）と同じ				
26	上甌	市敷設光ケーブルの利用（テレビ放送）	情報政策課	テレビ放送は事業の目的外使用となることから、総務省九州総合通信局とも協議を進めたい。デジタル放送との兼ね合いもあることから、その整備方針が示され次第、整備方法を検討したい。	2006年から鹿児島市より地上デジタル放送が開始され、2007年に本市も開始される予定である。地上デジタル放送が開始され整備方針が示され次第、検討したい。	市内でも2008年10月に川内永利局等順次デジタル中継局が開局し、地上デジタル放送が受信可能となる予定である。要望のテレビ放送は事業の目的外使用となることから、総務省九州総合通信局との協議も必要となる。デジタル放送との兼ね合いもあることから、その整備方針が示され次第、整備方法を検討したい。				
その他	里	村東自治会へのバス運行及びバス運行ができる道路の整備	建設整備課	どの地点から中型バスが通れないのかを調査・確認し、どういう方法が有効であるかを検討したい。	回答の通り。	回答の通り。				
その他	里	村東自治会へのバス運行及びバス運行ができる道路の整備	商工振興課	道路ができればバスの運行については解決することがあるかと思う。	バス運行のできる道路及びバスの回転場所の確保ができれば、運行については検討することができる。	左と同様				
その他		海岸清掃における公用車（トラック）の使用	財産活用推進課 (財産活用推進室)	公用車の使用についてはいろいろ規定があるが、協力できるよう早速対応したい。	里支所・上甌支所との合同で実施できたら、使用可能である。	海岸清掃については、開催が通常日曜日であることから、搬送先であるクリーンセンターが休みのため搬送ができない。そこで、ごみ等は集約していただき、翌日市で搬送している状況である。				

平成17年度 下飯・鹿島地域ふれあい市民会議（7月17日開催） 進捗状況一覧

議題	地区	議題内容	所管課	回答概要	進捗状況（H17年度末）	進捗状況（H19年度末）	地区振興計画	H18当初予算	H20当初予算	事業完結分
1	手打	竜宮の郷に海洋深層水を利用した入浴施設等の整備	観光課	竜宮の郷の海洋深層水風呂を公衆浴場とするには、面積要件を満たしておらず、現在の経営状況では増築は困難である。	・現段階では整備は難しい。 ・平成18年4月1日指定管理(利用料金制)開始。	現段階では難しい。 指定管理に移行して、管理業者の意向では収益性が見込めないし、今の体制では無理があり難しい。				
2	手打	農業の生産技術等の支援	農政課 (農政畜産課)	本庁の職員又は嘱託員等を派遣し、現地指導等を行う予定である。	市の技術員や嘱託等で対応していく考えであり、昨年甘藷については一部実施している。今後も要望があれば対応していきたい。	平成19年度は、実施していないが、平成20年度より新たな品目の取り組みとして、タマネギを計画している。指導方法については、集団指導を行うため、指導時期を決めて行っていきたい。 また、他の作物（ピワ、茶、甘藷、ソラマメ、大豆）については、今後の振興等を地元と協議しながら集団指導を行っていきたい。				
3	子岳	児童の地域間交流の支援・小学校留学生への助成	学校教育課	テレビ会議システムを活用した交流学習や地域間交流に対する助成を行っている。留学生には里親への助成を行っている。	引き続きテレビ会議システムを活用した交流学習や地域間交流に対しては助成を行っている。留学生には里親への助成を行っている。	テレビ会議システムを活用した交流活動や「春夏秋冬事業」を活用した交流が可能である。留学制度のある3小・中学校の里親へは助成を行っている。				
3	子岳	市職員の人事異動による小学校の児童数の確保	総務課	児童数の確保は小岳地区だけの問題ではない。職員本人の異動希望等も勘案しながら人事交流をおこなってきたい。	左記（前答弁）と同じ	左記（前答弁）と同じ				
4	西山	瀬々野浦海岸海水浴場にトイレ・シャワー室・更衣室、瀬々野浦港にトイレの設置	観光課	平成16年度に西山地区の前の平展望所にトイレを整備したので、各地域とのバランス・財政事情等を考慮すると今のところ非常に難しい。	整備の予定なし。	整備の予定なし。				
5	西山	海釣り公園の整備	林務水産課	漁業種の兼ね合いもあり、漁業者とのトラブル、資源の乱獲、環境保護の観点から慎重な対応が必要。豊かな自然に親しめる環境を残すほうがよいのでは。	産業経済部長答弁のとおり 完結					
6	内川内	がけ地近接住宅の危険対策としての公営住宅の整備	建築住宅課	地元から提案のあった旧内川内中学校跡地は、生活インフラが周囲にない、周囲に人家がなく災害時に孤立する、等の問題がある。現地調査を行い、市営住宅建設の可能性を検討していきたい。	現地調査の結果、内川内地区は地形が急で住宅建設に適当な平地がない現状である。また当地区には、既に6戸の公営住宅を建設しており、新たな住宅の建設は困難であると考えます。	平成17年度の現地調査の結果、新たな公営住宅等の建設は困難であると判断している。				
7	内川内	携帯電話の不感地域の解消	情報政策課	平成18年度整備に向けて本市最優先の地区として要望していく。整備の際には下飯分屯基地との同時解消をしてもらうよう働きかけたい。	平成18年度中に移動通信用鉄塔施設を整備する。	平成18年度に市で鉄塔整備、ドコモで通信機器等を整備し、平成19年4月13日から運用開始している。				
8	青瀬	海水浴場にトイレ・シャワー室の設置	観光課	今後、市が管理すべき海水浴場と、誰でも自由に使える海水浴場とを整理する必要があると考えているので、その中で検討していきたい。	検討の結果、近くの瀬尾観音三滝キャンプ場にトイレ・シャワーが整備されており、甌島全体のバランス等を考慮すると、同一地区内での同一施設の整備は現段階では難しい。	検討の結果、近くの瀬尾観音三滝キャンプ場にトイレ・シャワーが整備されており、甌島全体のバランス等を考慮すると、同一地区内での同一施設の整備は現段階では難しい。				
9	青瀬	瀬尾観音三滝公園を「鹿の子ゆり公園」として整備	観光課	地域や地区コミが中心となり、鳥を鹿の子ゆりでいっぱいにする運動を広げてもらえればありがたい。市も観光名所となるようPRに努めたい。	整備の予定なし。	整備の予定なし。				
9	青瀬	県道と瀬尾観音三滝公園との取り付け道路の整備	建設整備課	新しい県道との取り付けについては、県で整備していただきたいと考えている。市道瀬尾観音線については、側溝整備あるいは拡幅工事が必要かどうか検討したい。	H18に側溝整備等を行う予定。	・H19年度及び15ヶ月予算にて施工。				
10	長浜	公営住宅の建設	建築住宅課	「公営住宅ストック活用計画」の中で対応してまいりたい。建設用地については、市有地を含め調査したい。	新規住宅の整備は難しい状況。民間活力を活用した借り上げ方式による住宅整備は出来ないか検討したい。	民間活力を活用した借り上げ方式による住宅整備は出来ないか検討したい。				
11	鹿島	鹿島小学校のウミネコ留学制度の継続を	学校教育課	鹿島地域のみならず、本市の特色ある教育活動として定着しているので、今後も継続していく考えである。	平成18年度も継続して実施している。	平成20年度も継続して実施している。				
12	鹿島	離島救急医療対策について、ヘリは全額市負担、漁船のチャーターは一部個人負担	防災安全課	漁船のチャーター料金はまちまち、地域によってはフェリーやシーホークでの搬送となるので、全額を市で補助することは非常に難しい。避けておれない課題と認識し、積極的に検討してまいりたい。	・市としては、離島緊急医療対策組合へ年間2,016千円を負担していることから個人への補助は非常に難しい。 ・引き続きヘリの要請手続きから病院到着までの時間の短縮を要望していきたい。 ・また、漁船のチャーター料金については、各地域ごとに搬送時間、搬送距離によりまちまちである。現在、チャーター料金の値下げについては、鹿島支所を通じて漁船の持ち主へ協力をお願いし、個人負担の軽減を図っていきたい。 ・観光船は、緊急時、特に市長が認めた場合に限り活用できるが、今後指定管理者制度へ移行することから緊急時の救急搬送についても協議していきたい。	・鹿児島市町村総合事務組合緊急医療対策事業負担金として年間2,056千円を負担している。 ・国民健康保険による移送費の補助制度があるので活用していただきたい。 ・補助対象は全額ですが、上限があり、里・上飯地域で4万円、下飯・鹿島地域で4万5千円です。 ・詳しくは支所市民福祉課に問合せください。				

平成17年度 下飯・鹿島地域ふれあい市民会議（7月17日開催） 進捗状況一覧

議題	地区	議題内容	所管課	回答概要	進捗状況（H17年度末）	進捗状況（H19年度末）	地区振興計画	H18当初予算	H20当初予算	事業完結分
13	鹿島	海岸清掃時のごみの処分について	環境課	人力で処理できない大きな流木等については、建設部と連携をとり、重機等の借り上げで対応するケースもあるかと考える。	一般公共海岸区域の管理者である鹿児島県へ海岸の環境を保全するために積極的な措置を講じるように要請を県市長会で実施した。 要望事項 海岸管理者による一般公共海岸区域の環境保全の徹底について 海岸管理者による清掃ボランティアへの支援体制の確立について	一般公共海岸区域の管理者である鹿児島県へ海岸の環境を保全するために積極的な措置を講じるように平成20年度第1回県市長会に議題として提出した。 要望事項 海岸管理者による一般公共海岸区域の環境保全の徹底について				
14	鹿島	スポーツ少年団活動への支援	市民スポーツ課	薩摩川内市スポーツ少年団本部が組織されており、鹿嶋地区へは4万円の補助がされることになっている。	支部制の廃止に伴い補助金も廃止にした。代わりに交流に係る経費を負担することとした。育成は地域でも取り組んでいただきたい。	左記（前答弁）と同じ				
14	鹿島	小学生による東郷交流，中学生による茨城県鹿嶋市との交流の継続を	学校教育課	今年度も実施することとしている。ほかにも「春夏秋冬事業」など、さまざまな交流支援事業を実施し，青少年の育成を行っていききたい。	左記（前答弁）と同じ	東郷との交流については，テレビ会議システムを活用した交流活動や「春夏秋冬事業」を活用した交流が可能である。茨城県鹿嶋市との交流についても，テレビ会議システム等を活用した交流は可能である。				
15	鹿島	カンパチの中間育成の研究及び養殖業者の誘致，川内市場への優先的な流通	林務水産課	関係機関や漁協とも協議を重ね，甌島の養殖業振興のための方策を検討したい。また，水産物卸売市場の川内港用地への移転構想があり，甌の魚介類の販路拡大に繋がるよう検討することとしている。	・蘭牟田漁港の浅海漁場は，平成16年度～18年度で県が防波堤の整備を行い，市も平成17年度にイクス係留ブロックの整備を実施した。養殖事業については，平成17年4月から長島の企業が甌島漁協の組合員となって，浅海漁場で養殖業を営んでいる。漁協からの聞き取りでは，魚価の変動や輸送コストの問題から慎重な対応が求められるとのことで，養殖業の振興を図っていくためには，今後，採算がとれる複数の魚種養殖について検討しなければならないと考えている。 ・平成17年10月薩摩川内甌お魚まつりが川内港用地で開催され，甌島の魚介類が沢山販売された。平成18年度から水産物の消費拡大を図るため，月1回の朝市開催も計画されており，本年度から水産物地方卸売市場の基本構想を策定するため，関係者の聞き取りを実施することとしている。	・養殖業については，薩摩川内市離島漁業再生支援交付金事業で甌島漁業集落がトコブシの海面養殖を取り組んでいる。 ・内地への優先的な流通促進については，甌島全体のことで捕らえ，薩摩川内市水産物流通システム調査を行い，水産物の現状とその流通の現状や今後の整備する施設等の検討を行った。				
16	鹿島	蘭牟田瀬戸架橋の早期実現	建設政策課	あらゆる機会を捉えて要望等の取り組みを行っている。地域住民の長年の念願であることから，実現に向け市民一体となって取り組みたい。	3月31日事業決定。平成18年度より本格的に調査開始。	調査・測量・設計中（H19年度末から用地買収中） 今後も引き続き要望していききたい。				
17	鹿島	甌島航路の航路変更はあるのか	企業・港振興課（H17商工振興課）	今後の本市及び甌島地区の発展を考えると，川内港への寄航は観光・教育・医療・産業振興の面から利便性はさらに向上するものと思われる。これまで以上に利用しやすい甌島航路になるよう取り組みたい。	利用しやすい甌島航路の整備をめざして，平成18年度に利用者のニーズの把握や分析を行い，今後の甌島航路の検討調査を行うことにしている。	本市としては，甌島市民の生活の足の確保，甌島振興のため老朽化した高速船の代替船を市が建造し，甌島商船に貸し出し，川内甌島間に就航できないか検討している。しかしながら，川内甌島航路の実現については，「甌島市民の理解」が最重要課題であり，市の考えを直接甌島市民に説明すること等を目的として意見交換会等を実施したところである。				
18	鹿島	携帯電話の不感地域の解消	情報政策課	ご要望の小牟田地区はNTTドコモ，auのサービスエリア内であることから，事業者へ品質改善の働きかけを行っていききたい。	事業者への品質改善の働きかけを行っている。	通信事業者による整備があるところは，新たな整備の補助対象にならないため，既存サービスエリアの品質改善の働きかけを行っている。				
その他		蘭牟田瀬戸架橋は将来的に意味がないのでは	建設政策課	架橋により観光・教育・医療等いろんな可能性が描けるので，マクロ的にとらえらると必要であると考えている。	特に回答なし					

平成17年度 峰山・滄浪・寄田地区ふれあい市民会議（8月25日開催） 進捗状況一覧

議題	地区	議題内容	所管課	回答概要	進捗状況（H17年度末）	進捗状況（H19年度末現在）	地区 振興	H1 9当	H2 0当	完結 分
1	峰山	高江町農業振興への指導と支援	耕地課	受益者の経費負担等の理解と地域の同意が得られれば、経営育成基盤整備事業等の導入を検討したい。事業の内容・採択要件は、農業公社へ	具体的な検討は未着手である	H19より、農地・水・環境保全向上対策支援事業を導入し、農業環境保全及び農業振興を支援している。				
1	峰山	水稲従事期間以外の6ヶ月間の有効な活用策	農政課	樋脇の倉野地区では、水稲従事期間以外に大豆を栽培し、味噌醤油をつくり、地元で販売している。地区でも知恵を出し合っていたきたい	現在、地元からの提案等は特にないところであるが、今後地元と協議しながら、農地の有効活用について検討していきたい	現在、地元からの提案等は特にないところであるが、今後地元と協議しながら、農地の有効活用について検討していきたい				
2	峰山	高江インター周辺500戸の定住推進	企画政策課	新たな宅地造成は行わず、保有している未造成地及び分譲宅地の売却に努める	・定住促進については、基本的にソフト事業の展開を行っている ・家屋紹介等は地区コミと連携して進めている	・定住促進については、補助制度により充実しているところである。 ・余暇交流体験モデル事業等を通じて、地区コミと連携して、移住のPR・空家の紹介等を実施している。				
3	峰山	八間川「水辺の楽校プロジェクト」の整備促進	建設整備課	江之口橋の補修、東屋等の上物は、市で整備する。「水辺の楽校」推進協議会において作成された計画を基に、最終整備計画を作成したい	平成18年度で実施設計を実施し、平成19年度でポンプ発電機室等の移設を実施予定	ポンプ施設発電機室の移設及び防護策・植栽等景観整備を行なった。				
3	峰山	八間川「水辺の楽校プロジェクト」の整備促進	文化課	先人たちが築き、守ってきたこの「江之口橋」を将来に向けた保存整備として、関係機関と協力し、実施していきたい	建設整備課で実施するが、それに対して文化課は共同して行う	建設整備課で実施中				
4	峰山	「林間・野外活動ゾーン」の柳山周辺の振興	観光課	柳山周辺はドライブコースとしても適している。長崎堤防や江ノ口橋、カラフトワンの観光資源と連携し、柳山を活用・PRする必要もある	観光情報誌への掲載を行なった	H17年度末と同じ				
4	峰山	「林間・野外活動ゾーン」の柳山周辺の振興	環境課	風力発電は、民間事業者が風況調査をしている。本市も民間事業者での事業化を希望し、当調査への協力など必要な支援をしていきたい	平成19年度においては、地域枠が新たに設けられておりますが、民間事業者の応募の抽選結果を待っているところです	平成19年度地域枠に民間事業者が入ったが、諸事情により取り下げ、平成20年度枠に改めて応募の予定である。今後、出来る範囲内において、調査等への協力、支援を行って行きたい。				
5 -	峰山	南九州西回り自動車道の建設に伴う道路整備の促進 南九州西回り自動車道（川内川架橋、高江インター設置）の建設促進	建設政策課	南九州西回り自動車道は川内川に架かる橋梁部分を優先し整備するよう国・県にお願いしている	平成17年12月の都市計画決定以降、川内IC～高江IC区間においては、測量立ち入り説明会、設計説明会を経て、用地説明会まで終了し、現在、本年度内の一部着工を目指して国・県・市一体となって用地協議、取得を進めている	南九州西回り自動車道川内限之城道路については、H20.3.15の着工式を皮切りとして高江地区から工事に着手し、現在高江、小倉地区で整備を進めているところである。				
5 -	峰山	県道43号線（川内串木野線）の拡幅・直線化・歩道設置の整備促進	建設政策課	県道43号線主要地方道川内串木野線は、市街地から高江IC予定地までは測量等が実施される予定で長崎堤防までの区間は、色々なルート案が検討され、コスト面や排水対策等を考慮し、現道に沿った整備を行う計画と聞いている	倉浦地区で局部改良工事が実施されており、向田地区から高江IC区間は、南九州自動車道川内限之城道路とともに平成17年12月に都市計画決定し、平成17・18年度においては宮里地区で測量調査、用地取得が実施されているが、同路線は、高江ICと市街地を連絡するアクセス機能を有する道路として、地域住民の安全性の確保や交通緩和を図るうえからも早急な対策が必要であるため、今後も引き続き県へ整備促進の要望を行う	本路線においては宮里地区、倉浦地区の2地区で事業が進められており、高江地区における事業着手は厳しいところであるが、歩道設置要望箇所についてはH20.6に地元協力をいただきながら暫定歩道を設置したところである。				
5 -	峰山	市道の整備促進（永江線）	建設維持課	高江・永江線は、県道川内・串木野線からの起点部は維持工事により施工済み。それ以降の田んぼ内は未舗装であり、年次的に維持工事に対応	年次的に維持工事に対応することとしていたが、当地区内で優先して行う箇所（高江寄田線）があり、実施しなかった。今後、年次的に維持工事に対応したい	実施した。				
5 -	峰山	市道の整備促進（田中3号線、寄田線、郷鳴・瀬戸地、峯元線、宮下線、循環線、石田線、円僧線など）	建設整備課	高江・田中3号線は、本年度に用地を取得し、H18年度から工事に着手する予定。 高江・寄田線は、峰山地区コミュニティセンターから約735mの整備を終えた。 郷鳴・瀬戸地方面の整備を予定し、本年度中に測量設計を行い、来年度以降整備に入りたい。 上高江・峯元線は、本年度に測量設計を行う。 上高江・宮下線、高江循環線、高江・石田線、高江・圓僧線は、地区要望の路線を一度に整備できないので、整備順位を整理していただきたい	・高江・田中3号線については、平成18年度完了 ・高江・寄田線については、平成17年度（繰越）に一部測量設計を実施、平成19年度から用地補償及び工事に着手 ・上高江・峯元線は平成17年度に測量設計を実施 ・他の路線については、整備順位の整理をお願いしたい	田中3号線は、完了。高江・寄田線は、継続中。上高江線は、20年度完了。その他は、整備中路線の進捗を見ながら計画的に実施する。				

平成17年度 峰山・滄浪・寄田地区ふれあい市民会議（8月25日開催） 進捗状況一覧

議題	地区	議題内容	所管課	回答概要	進捗状況（H17年度末）	進捗状況（H19年度末現在）	地区 振興	H1 9当	H2 0当	完結 分
5-	峰山	郷鳴・瀬戸地の整備は、残りが1kmくらいだが、残り全てを今年度中に測量するのが	建設整備課	本年度中に測量設計するのは約500mと考えており、来年度以降随時測量整備となる	平成17年度の測量設計をL=600m実施	平成20年度測量完了。				
5-	峰山	広湯農道、里道や用水路の整備促進	耕地課	農道単体の整備採択は非常に厳しく、基盤整備事業等により農道・水路等を一体的に整備することで事業推進を図りたい	具体的な事業化については未定	H17年度末と同じ				
5-	峰山	土地改良区が担当のところは整備されているが、市が担当のところは未舗装の状態	耕地課	基盤整備に同意がもらえない場合は、市道の整備と並行し、地区の要望順位も考えやっていく	農道の舗装については、原材料支給で支援している。危険箇所及び通学路として利用される箇所を優先	H17年度末と同じ				
6	峰山	峰山小学校下の高江青年会館の跡地に高江町「ふるさとふれあい館」（仮称）の建設の要望	コミュニティ課	本市の財政状況は大変厳しく、新たな公共施設の整備は難しい。積極的なソフト事業による活動を広げて地域の活性化に努めていただきたい	「ふるさとふれあい館」（仮称）の建設は依然難しいが、平成19年度に地区コミュニティセンターの既存施設を増築して、地区の拠点施設である地区コミュニティセンターの機能充実と利用者の利便性を図っていく	H19年度に和室を増築済みである。				
6	峰山	高齢化が進み、階段の上り下りが負担。必要があればつくるのか、それとも今後一切つくるのか	コミュニティ課	一切つからない、ということではない。ソフト面の活性化に取り組んでいただければ、その努力には応えなければならないと思う	同上	H19年度に和室を増築済みである。				
7	峰山	薩摩型和船（木造船）の貴重な伝統製造技術の継承と和船の保存	文化課	川内歴史資料館では、船図をもと模型を製作し展示した。また船大工の橋口昌一氏に依頼し、「薩摩型の和船」を含む10隻の模型を年次的に製作し、資料として所蔵している。製作過程の記録を撮るとともに、製作資料の収集にも努めており、これからも展示・研究資料として活用する方針	平成18年度に「薩摩型船」を建造した	峰山地区コミュニティセンターで展示中。H20歴史資料館へ移設予定				
7	峰山	樽木家の屋敷を無償で譲っていただき、移設するという支援はどうか	文化課	現場を確認したい	家屋を確認したが、移設して保存・管理するより、地元で活用した方がよいと考える	移設等は検討していない。地元で管理・利活用した方がよい。				
8	滄浪	ハマボウ自生地の公園化計画 現状と将来の展望	文化課	ハマボウの樹勢が弱まっているとの専門家の指摘がある。ハマボウ自生地を将来に向けて保護するため地元と協議しなければならない	建設整備課で実施するが、それに対して文化課は協力する	建設整備課で実施中。				
8	滄浪	ハマボウ自生地の公園化計画 将来の展望 トイレ・駐車場・休憩所とハマボウ自生地に続く花いっぱい遊歩道の整備	建設整備課	早い時期に、基本的な整備計画を作成したい。トイレ・駐車場・休憩所等は必要不可欠であり、計画段階で検討する。ハマボウ及びカノコユリ等を植生し、花壇も整備したい	平成18年度で久見崎公園の実設計画をし、平成19年度で工事着工予定	平成19年度より整備中。				
8-	滄浪	県有地とハマボウ公園を結ぶ連絡橋の設置	建設整備課	県道が公園予定地を通過しており大型車等の交通も多い。これを考慮し、一体的利用が出来るよう計画を検討したい	検討の結果、横断歩道で対応	計画していない。				
8	滄浪	公園内に建設する物産館の運営は地区のみでは無理なので、テナント方式か、博多のラーメン屋台的な方式での運営	観光課	物産館の客層の見込みや販売する品目、地元の物販への関わり方により、施設の性格や規模、内容も変わってくる。地元とも協議したい	物産館の建設の是非並びに運営等について、今後幅広く地元と協議していきたい	H17年度末と同じ				
8	滄浪	原電を見に行く人が、年間7万人いると聞いている。今は素通りされているので、立ち寄ってもらわなければならない	観光課	物産館の運営は地区や民営では無理。作ってどうするのか、ということになる	同上	H17年度末と同じ				
9	滄浪	海の見える場所への「想夫恋」の踊り場の整備	文化課	「海の見える場所」に記念碑の移設及び踊り場の確保については、候補地も含め今後、保存会と協議検討していきたい	「海の見える場所」として、候補地を選定したが、記念碑の移設もあり、実施については、さらに地元とつめていきたい	H20年度移設実施予定。				

平成17年度 峰山・滄浪・寄田地区ふれあい市民会議（8月25日開催） 進捗状況一覧

議題	地区	議題内容	所管課	回答概要	進捗状況（H17年度末）	進捗状況（H19年度末現在）	地区 振興	H1 9当	H2 0当	結 分
10	滄浪	滄浪小学校への給食車の搬入路の整備	建設整備課	この道路は里道であり、拡幅改良を行うには市道認定が必要。その他、用地取得や立木補償等が必要となるため、関係地権者の同意をお願いしたい	平成18年度に市道認定、測量設計、工事発注を実施し、19年度に完了予定	平成19年度で完了。				
11	滄浪	加治屋地区、小田地区への消火栓の設置	消防局	久見崎地域の消火栓は相当強い圧力といえる。十分とは言わないまでも設備は整っており、消防団と連携をとり消防・防災体制を強化したい	当初回答のとおりであり、現在消防団との連携を密にとりながら消防・防災体制の強化を図っている	当初回答のとおり、今後も消防団との連携を密にとりながら消防・防災体制の強化を図っていく。				
12	滄浪	地区内の道路等の整備について 小田地区（不動堂前～中山宅～森満宅～間）の道路拡張	建設整備課	里道であるため、まずは市道認定が必要。 ～は整備順位を整理して建設整備課との協議をしていただきたい	整備順位の整理をお願いしたい	平成20年度測量と市道認定				
12	滄浪	小田地区の福沢、西村、井龍宅の3軒の排水溝の整備	耕地課	農道の水路整備という方向で検討したい	H18年度に一部実施。H19年度実施で完了予定	H19で完了				
12	滄浪	久保地区（安藤宅～前田宅～愛甲宅～米沢宅間）の道路拡張	建設整備課	里道であるため、まずは市道認定が必要	整備順位の整理をお願いしたい	小田線完了後検討				
12	滄浪	久保地区（阿弥陀仏～旧郵便局～空家2軒～中村旧宅間）の道路拡張	建設整備課	県道 川内・串木野線と市道 久見崎循環線とを結ぶ市道 久見崎・前田線である。全線360mの内、平成15年度に滄浪小学校付近の拡幅改良を実施した。要望の区間はその先の区間であり、延長が約100m、現況幅員が2.0から2.6mである	整備順位の整理をお願いしたい	小田線完了後検討				
12	滄浪	砂岳地区（砂嶽宅～渋谷宅間）の市道拡張	建設整備課	里道であるため、まずは市道認定が必要	整備順位の整理をお願いしたい	小田線完了後検討				
13	寄田	次の区間の道路が狭く緊急時の救急車・消防車が入れない（～） 寄田・上野線	建設整備課	寄田小学校裏から市道高江・寄田線との交差点まで延長約600m、幅員5mの整備を計画	平成17年度から年次的に実施中、平成20年度完了予定	平成20年度で計画区間完了				
13	寄田	瀬戸野・池ノ段線	建設整備課	側溝に蓋をすることで幅員を確保する方法や、途中に待避所を設けること等を検討したい	維持的補修で年次的に実施中	維持工事対応				
13	寄田	土川・港線	建設整備課	昨年度に起点部分を工事した。高さが高いため、盛土が途中までで止まっているが、本年度はこの区間、延長70mの整備を終わらせたい	平成17年度に回答部分に伝は完了、平成19年度は港までのL=170mについて測量設計予定	平成19年度測量設計。20年度工事				
14	寄田	河川の清掃について、愛護週間等に際して清掃したが、人が入っていくには危険な場所もあり、行政での清掃支援をお願いしたい	建設維持課	実施できなかった箇所は要望があれば調査し、河川管理上必要な箇所及び危険な箇所を、県管理は県に要望し、市管理は市で作業を実施したい	市の管理河川については、要望による支援要請があったら、対応いたします。県管理の河川については、要望を受け、実施していただくよう県に上申いたします	支援の要望を受け実施している。				
その他	峰山	峰山地区コミュニティセンターの学習を1階の図書室兼会議室でやっている。この部屋にクーラーを設置していただきたい	コミュニティ課	予算の残がないか確認して、御期待に沿えるようにしたい	今後も、御期待に沿えるように努力したい	予算措置が出来るように努力したい。				
その他	寄田	アスベストについて、学校の施設、コミュニティセンターの調査の結果を教えて欲しい	環境課	学校関係は、10校の11箇所の疑わしいものを分析に送った。峰山地区コミュニティセンターは空气中に飛散する恐れがあり、再度調査をする	峰山・滄浪・寄田地区コミュニティ内の学校を含む施設の測定結果については問題はありませんでした。建材等に含有が確認された他の施設においても対処済みであるため、使用に支障はないとしておりますが、平成20年2月に当時対象としていなかった3物質についても、調査、分析を徹底するよう厚生労働省より通達があったため、平成20年度以降において、調査、分析等の対応をする必要があります。	平成17年度調査においては、峰山・滄浪・寄田地区コミュニティ内の学校を含む施設の測定結果については問題はありませんでした。建材等に含有が確認された他の施設においても対処済みであるため、使用に支障はないとしておりますが、平成20年2月に当時対象としていなかった3物質についても、調査、分析を徹底するよう厚生労働省より通達があったため、平成20年度以降において、調査、分析等の対応をする必要があります。				

平成17年度 峰山・滄浪・寄田地区ふれあい市民会議（8月25日開催） 進捗状況一覧

議題	地区	議題内容	所管課	回答概要	進捗状況（H17年度末）	進捗状況（H19年度末現在）	地区 振興	H1 9当	H2 0当	完結 分
その他	滄浪	現在の久見崎のグランドゴルフ場は一部個人の所有者であり、売られる可能性もあるので新しいものを整備していただきたい	建設整備課 (H17都市計画課)	ハマボウ公園として確保している土地のうち、グランドゴルフ場にそれだけ取れるか調査した上で検討したい	予定区域の一部を今年度工事着手する予定である	平成18年度測量設計を実施。平成19年度より工事に着手した。20年度も実施予定。				
その他	峰山	ある生徒がいじめにあったが、保護者会での先生の説明と生徒の説明とに食い違いがあり、不満を感じた。資質の向上を要望する	学校教育課	学校内で解決するのが一番だが、解決できなければ、教育委員会、あるいは行政で解決しなければならない。この問題は、時間をいただきたい	いじめ問題への迅速かつ適切な対応については、管理職研修会や生徒指導主任等研修会を通じて指導を重ねている。また、本件については、いじめの概要や学校の対応策等の説明により、17年度中に理解を得られたものと考えている					

平成17年度 平成中・高城西中校区ふれあい市民会議（10月28日開催） 進捗状況一覧

議題	地区	議題内容	所管課	回答概要	進捗状況（H17年度末）	進捗状況（H19年度末現在）	地区 振興	H1 9当	H2 0当	完結 分
1	八幡	八幡小学校のプールは、既に31年を経過し2番目に古く、小学校体育館から約120m離れている。移転建設を要望する	教育総務課	平成9年度に災害復旧工事、平成16年度に塗装工事及び更衣室を整備し問題がない。平成9年度の工事で国庫補助を受け、当分は処分できない	H19年度に移転改築する。 現在設計業務委託中	H19年度改築済				
1	八幡	合併特例債でも利用して整備していただけないか。体育館の近くが良い	教育総務課	災害復旧補助金は90%くらいが国の補助で、その残存期間が残っており、その期間が過ぎなければできないという状況	同上	H19年度改築済				
2	八幡	国道267号から市道丸山～向鶴線が途中で狭隘のため不便を強いられており、早急な拡幅工事が必要	建設整備課	平成3年度から平成15年度に運動公園側から、1,240mを整備した。地域住民らの利用を踏まえ国道267号へのルート検討を行っている。ルートが決まれば、平成18年度に実施設計を行い一部用地買収に取りかかり、用地買収次第では平成19年度から工事に着手したい	平成17年度に基本設計、平成18年度に実施設計測量計を行い、平成19年度は用地補償等を実施予定	平成18年度から測量設計。19年度より用地買収中。平成20年度より一部工事着手。				
2	八幡	用地交渉が進まずストップしている。地元で協力をしたいので、できるだけ早期に整備していただきたい	建設整備課	市道瀬ノ岡・丸山線は、ルート案が4本ほどあり、どれが同意をいただけるかという段階。協力いただければ、工事に着手できるのではないかと	平成17年度に基本設計、平成18年度に実施設計測量計を行い、平成19年度は用地補償等を実施予定	平成21年度実施計画搭載予定。地権者交渉を地元でお願いしている。				
3	高来	体育館の裏山に水路が設置されているが、途中の里道部分の暗渠が埋没破損しており下部が宙に浮いている。改修を要望する	建設維持課	改修工事に着手している	改修工事に着手している	完了				
4 -	高来	コミュニティセンターについてトイレを洋式便器に	コミュニティ課	洋式トイレの要望が多く、48のコミュニティセンターを調査している。財政上の問題もあるが、できるだけ早い時期に改修できないか検討したい	実施済 1F男・女（2箇所）を洋式トイレへ変更					
4 -	高来	トイレの改修の計画については、何年度に完成を目標にしているのか	コミュニティ課	改修に該当する施設が27ある。市の実施計画のなかで計画を育て、全体的にいくらで足りるかという検討をしたい	実施済 1F男・女（2箇所）を洋式トイレへ変更					
4 -	高来	2階への階段部分には、片側だけ手すりがついているが、両側に手すりを設ける	コミュニティ課	工事に着手しており、今月中には完成する	実施済					
4 -	高来	玄関付近の段差に、一部傾斜路を設ける	コミュニティ課	工事に着手しており、今月中には完成する	実施済					
4 -	高来	敷地入口に外灯を設ける	コミュニティ課	工事に着手しており、今月中には完成する	実施済					
5	城上	今寺～松岡線は道路狭隘のため、既に10年前に用地買収は終了している。重要な道路であるので、拡幅整備をお願いしたい	建設整備課	市道今寺・松岡線は、上小川貴太郎氏宅入口まで整備を終えた。平成18年度に山下昭男氏宅下までの区間を測量設計し、年次的に整備を図る予定	平成18年度に測量設計、平成19年度に用地補償を実施し年次的に工事施工予定	平成19年度より再開。				
6	城上	今寺～向鶴線は役割も大きい。地権者の同意も9割方取り付けている。拡幅整備をお願いしたい	建設整備課	他に今寺・松岡線も要望されているが、どちらを優先とするのかを決めて頂きたい。離合場所の設置や側溝の整備で対応ができないか検討したい	今寺・松岡線を優先することで処理	今寺・松岡線完了儀としている。				
6	城上	なかなか整備の進まなかった今寺・松岡線について、生活道路や地域活性化の面から、第1に要望したい	建設整備課	言われたように、今寺・松岡線を第一にし、今寺・向鶴線の離合場所の整備等の検討は行いたいと思うので、よろしく申し上げます	今寺・松岡線を優先することで処理	平成19年度より再開。				
7	陽成	市または民間企業等の方々に、市営・公営住宅あるいは民間経営住宅などの設置をしていただきたい	建築住宅課	現在民間が作った借家を一定期間借上げ、市の住宅として貸し付ける制度を検討中。平成17年度に公営住宅ストック総合活用計画を策定中である	平成18年度に借上型地域振興住宅2棟を設置した					
7	陽成	民間企業により住宅を整備したいという回答であったので、これを進めて早い時期に実現していただきたいと思う	建築住宅課	民間で作っていただき、市が借りる方法を検討中であるので、若い人に住んでいただける魅力のある住宅をつくらうということで考えている	平成18年度に借上型地域振興住宅2棟を設置した					

平成17年度 平成中・高城西中校区ふれあい市民会議（10月28日開催） 進捗状況一覧

議題	地区	議題内容	所管課	回答概要	進捗状況（H17年度末）	進捗状況（H19年度末現在）	地区 振興	H1 9当	H2 0当	結 分
8	陽成	市きらめき事業を今年度もしくは平成18年度に実施いただきたい。その資金をもとに、沿道の美化推進に努めたい	コミュニティ課	地区コミュニティ協議会が設立されたので、この美化推進のための活動に協議会の予算を分けなければいけない、などの検討をいただきたい。また、提出いただいた4地区の地区振興計画から、市基本計画への反映検討を行い、その中で新たなソフト事業、地区コミ活性化の補助金制度を創設できないか協議を行っている	地区の特性や資源を活かし、地区の活性化に資するために取り組むソフト事業を支援するため、平成18年度に薩摩川内市地区コミュニティ活性化事業補助金を創設した。 陽成地区においては、上記補助金を利用し、市きらめき事業の継続事業として、平成18年度「農産物直売所」の建設事業に取り組まれています	平成18年度に地区コミュニティ活性化事業補助金を活用して実施された。				
8	陽成	市きらめき事業を今年度もしくは平成18年度に実施いただきたい。その資金をもとに、沿道の美化推進に努めたい	環境課	環境関連の補助制度は、快適環境づくり補助金がある。対象経費としては、フラワーボット、花苗など合致するので、検討いただきたい	平成18年度に陽成地区コミュニティ協議会より快適環境づくり補助金を活用したいとの要望があったが、諸事情により取り下げられた。平成19年度についても快適環境づくり補助金の受付は行っているの、申請があれば受け付ける	平成19年度には陽成地区コミュニティ協議会からの快適環境づくり補助金の申請はなかった。平成20年度についても快適環境づくり補助金は受け付けているので申請があれば受け付けることとする。				
8	陽成	薩摩街道を歩くという取り組みがあり、これに県外から沢山の方が訪れる。他の補助金についても、助言をいただきたい	環境課	環境課の助成事業は平成17年度は締め切っているの、来年度申請いただきたい	快適環境づくり補助金では、道路沿いや公園などに花を植栽するなど快適な環境づくりに取り組む市民団体に対して補助を行っている。例えば、市民団体が薩摩街道の沿道に花を植え、修景を図るような事業にも活用できる	快適環境づくり補助金では、道路沿いや公園などに花を植栽するなど快適な環境づくりに取り組む市民団体に対して補助を行っている。例えば、市民団体が薩摩街道の沿道に花を植え、修景を図るような事業にも活用できる。 平成19年度には、快適環境づくり補助金の申請は出されていない。				
8	陽成	市きらめき事業を今年度もしくは平成18年度に実施いただきたい。その資金をもとに、沿道の美化推進に努めたい	社会教育課	厳しい行財政の中、歳出削減により財源確保に努めているが「旧川内市きらめき事業補助金」に替わる新たな補助金制度の創設に向け検討している	全市的な補助金の創設は困難。提案公募型補助金制度の活用を勧めたい					
9	湯田	川内高城温泉道路が狭く、大・小車輛の通行難の緩和等に対応できない。市長並びに県知事宛に隧道バイパスの陳情書を提出した	建設政策課	現在の湯之元地区の県道幅員等を勘案すれば、バイパス建設は必要と考えるが、県知事の回答等もあり、地元の状況等を見守りたい	平成18年12月に県が事業説明会を開催し、その結果地元の合意形成がなされたものと判断し、平成19年度から着工する方向で調整したいとの考えが示されたところである。今後も引き続き県へ同路線の改良促進の要望を行う	一般県道東郷西方港線のバイパス工事については、一部反対意見はあるものの、H19年度に着手した。（H19.10.22の地元説明会時での圧倒的建設支持を受けて）				
10	湯田	地域発展に影響をもたらす市道一条殿・峠路線の改良工事の継続及び一層の促進をお願いしたい	建設整備課	地元の御意見を聴きながら、年次的に整備を図る予定である	離合箇所等の設置で対応できないか地元と協議をして生きたい	平成19年度より整備中。				
11	西方	西方小学の特認校生の通学条件を肥薩おれんじ鉄道に限定せず、路線バス並びに特認校バスを利用できるようお願いしたい	学校教育課	平成18年度までは肥薩おれんじ鉄道利用者の方に限定して募集したい。平成19年度からの通学条件については、十分検討していきたい	平成18年度に引き続き、19年度においても、肥薩おれんじ鉄道利用者の方に限定して募集を行い、平成18年度6名、19年度9名が特認校生として通学している。通学条件については、今後の推移をみて検討していきたい	19年度においても、肥薩おれんじ鉄道利用者の方に限定して募集を行い、19年度9名が特認校生として通学している。通学条件の路線バス等への拡大については、現在のところ考えていない。				
11	西方	肥薩おれんじ鉄道一つにしばられ、通学時間等いろいろと問題があるという話も聞いている。ぜひ他の交通機関も検討いただきたい	学校教育課	平成18年度は制度ができていない。体験入学を希望という方が2名ほどいらっしやるので、これを踏まえ特認校の制度について検討したい	通学時間等については、学校長と協議して調整ができていない。駅から学校までの通学路の安全対策についても、教職員等によって行われており、現在のところ他の交通機関については考えていない。	通学時間等については、学校長と協議して調整ができていない。駅から学校までの通学路の安全対策についても、教職員等によって行われており、現在のところ他の交通機関については考えていない。				
12	西方	避難場所が西方体育館（西方地区コミュニティセンター）となっているが、大雨になればすぐに溢れて道路を寸断してしまい、避難路として使えなくなる。鉄道を越えて渡れるよう、西方駅に跨線橋の設置を要望する	建設整備課	市営住宅前の松山川は、国道3号を横断する部分の改修を行う予定で、流れは良くなり効果がでるものを期待している。西方駅の跨線橋は鉄道利用者専用で、これを西方体育館に延伸することは難しい。新しい跨線橋は相当な事業費を必要とするため、現在のところ予定していない。松山川を改修し、道路が冠水しないように努力している	松山川の分水路については、平成18年度完了。跨線橋については、現在のところ予定していない	再三要望があるが、難しい。対応策として国道に歩道整備計画が決定した。				
12	西方	潮の関係で、満潮のときは行けなくなると思う。避難路は緊急時に使えるものでないといけなないので、検討をお願いしたい	建設整備課	設置すると、3億から4億のお金がかかるので、できない。潮がその地点まであがってくるという考えは私どもは持っていない	松山川の分水路については、平成18年度完了。跨線橋については、現在のところ予定していない	再三要望があるが、難しい。対応策として国道に歩道整備計画が決定した。				

平成17年度 平城中・高城西中校区ふれあい市民会議（10月28日開催） 進捗状況一覧

議題	地区	議題内容	所管課	回答概要	進捗状況（H17年度末）	進捗状況（H19年度末現在）	地区 振興	H1 9当	H2 0当	完結 分
13	吉川	縦の交通路線はあるが、横の路線がない。西方海岸から高城温泉、藤川天神へと通じる観光ルートとなる道路を新設いただきたい	建設整備課	城上町吉川の下之段から東郷町藤川の井川とを結ぶトンネルは、壮大な構想のため実施は非常に難しい。一步一步基礎固めを行うことが第一である	トンネルについては、現在のところ予定していない	現在湯之元地区を整備中。その後となる。				
13	吉川	これは今でた話ではない。藤川地区の方とも申し合わせをしている。今日明日の話ではないので、長い目でみていただきたい	建設整備課	藤川は昔は吉川校区だった、という人的つながり、集落のつながりは大切である。トンネルを掘ればいいのだけれども、30億くらいかかる	トンネルについては、現在のところ予定していない	現在湯之元地区を整備中。その後となる。				
14	吉川	学校が無くなることで地域がさびれていき、地区民の拠り所がなくなってしまう。吉川小学校の未永い存続をお願いしたい	学校教育課	現在、小・中学校の統廃合は考えていない。特認校制度は地元生がいなくなると存続できないので、地元児童の確保も取り組んでいただきたい	平成19年度において、特認校生14名、地元児童5名となっている。今後の地元児童の推移等を考慮し、特認校制度についても検討していきたい	教育委員会では、「市立学校通学区域・適正規模等審議会」に学校の通学区域や適正規模等をどのように考えていけばよいか審議をお願いしているところである。今後、審議会の審議結果をもとに、子どもの教育はどうあるべきかという視点に立って、通学区域の見直しや適正規模化を踏まえた学校の再編等についても慎重に考えていきたい。その中で、教育の機会均等や財源などの面から問題が指摘されている特認校制度の在り方についても、検討したいと考えている。学校存続を考えると今は特認校制度による児童数確保に頼らなくてはならない状況もあるだろうが、保護者や地域の方々にも、子どもの教育に視点を置いて、学校の適正規模化や統廃合等についても御理解・御検討をいただきたい。				
15	吉川	頼りとなるところは学校しかない。若い方々に住んでいただこうと取り組んでいるので、御協力をお願いしたい	建築住宅課	小学校をつぶしたりするというのは、もとより考えていない。住宅を民間でつくってもらい、それを市が借り上げてやるということも考えている	借上型住宅の整備は、まず地元からの要望が不可欠である。地元の入居希望者の状況を伺いながら検討してまいりたい。なお、戸川住宅6戸のうち現在1戸募集しているので入居者の斡旋をお願いしたい	地元の入居希望者の状況を伺いながら平成21年度以降に検討して参りたい。				

平成17年度 川内北中校区ふれあい市民会議（1月27日開催） 進捗状況一覧

議題	地区	議題内容	所管課	回答概要	進捗状況（H17年度末）	進捗状況（H19年度末現在）	地区 振興	H1 8当	H2 0当	結 分
1	亀山	御陵下町は下水道処理の指定区域であるが、亀山地区はほとんどが指定区域外である。指定区域外も行政で対策を講じてもらいたい	下水道課	下水道整備区域では、一般家庭で月に約3,000円程度の使用料をいただいておりますが、負担の不公平はないので特別の助成は現在考えていない。単独浄化槽から合併処理浄化槽に切り替える場合は、10万円の補助をする制度を設けており、高齢者・障害者向けの他の制度もあるので窓口で尋ねてほしい	同左	H17年度末と同じ				
1	亀山	3年前に同一の問題提起をした。下水道整備区域の1世帯当たりの受益者金額を計算すると、約360万になる。合併処理浄化槽の世帯は50万の開きがある。3年前に、環境大臣の指定を受ければ補助金があると指摘をしたが、それを踏まえたものか	下水道課	3年前の御指摘は、個別合併処理浄化槽についての話と思っている。川内市全てを公共下水道で整備しようという構想があったが、こういう経済状態になり、個人負担の問題もでてきた。公共事業に対する目、経済的なもの、国の方針、そういった大きな流れのなかで動いている	同左	下水道整備と合併浄化槽の費用を比較すると、建設の部分については金額に差が出る。しかしながら、総合的に汚水処理費用で比較すると、公共下水道は施設の維持管理費及び公債費の一部を下水道使用者からの使用料金で賄うが、合併浄化槽の汚泥の処理については、施設の建設から施設の維持管理費までほとんどが一般財源からの支出である。よって、受益者金額については、総合的に勘案すると合併浄化槽と公共下水道は同程度と考えられ、受益者金額については、差は無いと考える。				
2	亀山	山田島・五代線は、銀杏木川から永田自治会までの間は狭く歩道もないため、大変危険。交通量も多いうえ住宅地で、車がすれ違う際は側溝の上を車が走り朝晩は音もうるさい。川内川の堤防を管理するためにも、堤防沿いに道路が新設されるよう整備を	建設整備課	堤防には光ケーブルが入っており、樋門が設置されている。民地を買収しなければならず、家の移転も必要で多くの課題がある。朝晩の騒音はこれは蓋のがたつきによるもので、音のひどい箇所から整備を実施している。平成18年度以降もがたつきのひどい箇所から、予算の状況を見ながら対処したい	堤防沿の新設道路については、現在は予定していない。蓋のがたつきがひどい箇所は建設維持課で改修中	計画されていない。				
3	亀山	須之崎橋から高槻橋間は、歩道面の両側は草木竹が生い茂り、歩道面は凸凹が多い。法面の刈払いと歩道面の舗装化を進めてほしい	建設維持課	高城川は県管理であり、雑草の繁茂状況や予算等を確認し対応したいとのこと。路面は、舗装は難しいとのこと。砕石散布等により対応したい	防犯等で必要な箇所については、除草等を実施した。また、路面については、必要に生じ砕石散布等に対応します	左記回答概要の通りでありますので、御理解と御協力を御願いたします				
3	亀山	刈払いと舗装化について、1級河川の川内川と高城川では、堤防管理に雲泥の差があるが何故か。歩道の整備状況について、北西部の堤防は歩道の舗装がされ、非常に整備されているが、南東部の堤防は草木が生い茂っている。どうしてこのような差があるのか	建設維持課	川内川は国管理の河川で、高城川は県の財政状況もあり手が回らないということもある。高城川の右岸は、横岡古墳があり市の位置づけをやっている。また、通学路として指定しているため、市のほうで路面のコンクリート舗装を行ったという経緯がある。左岸と差をつけて整備したというわけではない	左記回答概要の通りでありますので、御理解と御協力を御願いたします	左記回答概要の通りでありますので、御理解と御協力を御願いたします				
3	亀山	須之崎橋に歩道橋を設置いただきたい。児童等の通学路があるが、非常に危険である。仲介役になっていただきたい	建設維持課	歩道橋は、県道ということで県に要望することになるが、市にも窓口があるので、お越しいただければ県にお繋ぎしたい	防犯等で必要な箇所については、除草等を実施した。また、路面については、必要に生じ砕石散布等に対応します	左記回答概要の通りでありますので、御理解と御協力を御願いたします				
4	可愛	小規模の河川において、愛護作業を実施している。しかし、作業にはかなりの労力がかかるうえ、夏場などは1カ月もすれば雑草が生い茂る。恒久的な対策（コンクリート張りにするなど）が、行政で定期的な除草作業をお願いしたい	建設維持課	河川愛護作業にも限度があり、例年市も寄州除去や伐採作業を実施している。気付いた箇所は要望があれば危険な箇所を優先し予算内で対応したい。コンクリート張りは、生態系の保護から好ましくないと指導もあり極力自然護岸としている。護岸崩壊等災害が発生した場合は災害復旧事業で対応したい	作業等が困難な箇所については、市で実施した	作業等が困難な箇所については、市で実施した				
4	可愛	ゴルフセンター横の河川は竹が生い茂り、住民では危険で対応できない。環境整備をしていただきたい	建設維持課	話で場所はだいたい理解できたので、現地をもう一度確認し、予算の範囲内で対応を考えたい	伐採等を実施した	伐採等を実施した。				
5	可愛	市道と光園線は交通量が多い道路であるが道幅が狭く、事故の危険性が高い。道幅を広げて見通しを良くしてもらいたい	建設整備課	平成18年度に拡幅改良の整備を実施する予定。若あゆ作業所側に用地をかけて幅員を確保することとしている	平成18年度から工事施工中であるが、工法等の変更により平成19年度に完了予定	平成19年度完了				

平成17年度 川内北中校区ふれあい市民会議（1月27日開催） 進捗状況一覧

議題	地区	議題内容	所管課	回答概要	進捗状況（H17年度末）	進捗状況（H19年度末現在）	地区 振興	H1 8当	H2 0当	完結 分
6	可愛	前回電柱の地中化についての質疑がなされ、国道3号喜橋から続く御陵下及び上川内地区の電線類地中化事業を国土交通省へ働きかけたいとの回答だったが、その進捗状況を。まだ働きかけをしていないのであれば、今後そのような予定があるか教えていただきたい	都市計画課	国道3号大小路地区電線類地中化事業は実施した。御陵下地区は前回受け取り、関係機関に要望書を提出した。地元からの要望書は効力を持つ。「川内都市計画区域マスタープラン」にて、御陵下地区可愛地区とも記載されている。次期5カ年計画で実施されるよう、市・地元一体となり要望活動等行いたい	平成19年5月に、薩摩川内市御陵下地区無電柱化の整備に関する要望については、市長、建設部長及び地元促進協議会委員等で、鹿児島国道事務所、九州電力、NTT西日本へ要望書提出を行う予定である	御陵下地区の無電柱化については、平成18年度に引き続き、国土交通省をはじめ、鹿児島県や電線管理者に要望活動を実施したところである。平成20年度に次期整備計画が策定される予定であるので、引き続き要望活動を行う予定である。				
7	可愛	肥薩おれんじ鉄道の利用促進を図るために、上川内駅前広場に駐輪場と駐車場を整備してほしい	商工振興課	駅前には、肥薩おれんじ鉄道及び市所有の遊休地がないため、これ以上の駐車場や駐輪場の拡大は難しい	回答のとおり					
8	可愛	泰平寺横の市営住宅は、入居者がなくなった後の活用について計画があるのか。市営住宅の跡地を駐車場として活用できないか	建築住宅課	跡地の利用については、御質問にあるように、駐車場も含め検討してまいりたい	跡地利用については、駐車場も含め検討してまいりたい	跡地利用については、駐車場も含めて今後検討して参りたい。				
9	育英	中郷上池は憩いの場として整備された。中郷下池は、十分な整備がなされていないので、上池同様整備いただきたい	耕地課	中郷下池の整備は平成15年度に終え、新たな整備計画はしていない。除草作業および安全対策などについて、適切な維持管理を行っていく	今のところ特に対応はしていない	H17年度末と同じ				
10	育英	川内川（中郷）堤防跡地の利活用策として、多目的広場、花壇などのある「中郷運動公園」を設置していただき、地域づくりに活かしたいと市長並びに河川事務所長宛てに要望書を提出した。管理は、地区民でできないところは市でも支援していただきたい	建設政策課	提出した要望書を整備いただくよう市長の意見を付して川内川河川事務所に提出した。川内川宮里公園のような市の位置付けは難しい。アダプト制度という公共施設を養子とし地域が里親となって維持管理をしていく制度がある。こういう制度を活用するなどして、できるだけ地元で行っていただきたい	回答のとおり	H20年度策定予定の「川内川水系河川整備計画」にて河川空間の利用促進の方針として掲載予定				
10	育英	育英地区は川や池に恵まれ、水景文化都市の中核をなす地区。水景文化都市の拠点として整備されるようご配慮いただきたい	都市計画課	合併しても「水景文化都市」の理念は引き継いでいる。地元の皆さんと十分に協議をしながら、公園に近いものにと考えている	地元と十分に協議をしながら、進めたいと考えている	地元と十分に協議しながら、進めたいと考えている。				
11-1	育英	区画整理地区外の一部に緊急車両の進入ができない道路があり、整備をお願いしたい。計志加里線	建設整備課	周囲が団地化されていることもあり、幅員が2m程度と非常に狭く、道路ぎりぎりまで建物がある。改良の必要な道路は約250mほどある	未改良部については、建物が密集し相当な事業費を必要とするため、現在は予定していない	計画されていない。				
11-2	育英	園畑～鶴峯線	建設整備課	団に徐々に住宅が建っている。田んぼの中は、幅員が2m程度と非常に狭いということで、改良に必要な延長は約220mほどである	平成19年度に測量設計を実施予定	平成20年度より実施中				
11-3	育英	山田島～平原線	建設整備課	過去にも要望があり、地権者と協議したが、承諾していただけなかった。改良に必要な延長は約100m。地区内の優先順位を決めていただきたい	地権者の承諾が頂けない状況である	計画されていない。				
その他	亀山	肥薩おれんじ鉄道の上目踏切に変電所があるが、音がうるさく、JRと肥薩おれんじ鉄道にお願いしているが進展がないので行政からの対処を。変電所に避雷針があるようで落雷時にはものすごい音がする。アパートに入居した方が、音が恐くて出て行ったこともある	商工振興課	上目踏切の変電所はJRの管理資産、鉄塔は九州電力の資産。変電所は踏切等の電気系統の管理施設で、落雷があれば踏切も電車もストップする。この地域は第2種の中高層住居専用地域で45デシベルが騒音の基準。今後調査したい。JR九州に伝え、今後も適正な維持管理に努めるよう話し合いたい	上目自治会長に状況を説明し、理解を得ている					
その他	亀山	子どもたちの安全について、PTAで送り迎え等しているが、統一的な決め手がなく難しい。統一的な進め方を示してほしい	防災安全課	統一的な取り組みを市が示すのではなく、各地区コミュニティ協議会でやっていただければと考えている	回答のとおり	回答のとおり				

平成17年度 川内北中校区ふれあい市民会議（1月27日開催） 進捗状況一覧

議題	地区	議題内容	所管課	回答概要	進捗状況（H17年度末）	進捗状況（H19年度末現在）	地区 振興	H1 8当	H2 0当	完結 分
その他	可愛	天大橋を通して、薩摩国分寺跡史跡公園につながる隈之城・高城線の計画についてどうなっているか聞きたい	建設整備課 (H17都市計画課)	隈之城高城線は後牟田から京セラの運動場の下を通り、県道吉川・川内線、この整備を計画決定している。これが平成20年度までかかるということで、整備を行っている。国分寺地区は史跡にあたりルート変更の都市計画決定を行った。この間の整備はいつどうなるということは申し上げられない	隈之城高城線は後牟田から京セラの運動場の下を通り、県道吉川・川内線までは整備計画決定し、平成20年度までかかるということで、整備を行っている状況である。 国分寺地区については、史跡にあたりルート変更の都市計画決定を行っているが、現時点では、この間の整備がいつどうなるということは申し上げられない。また、国道267号線との交差点部については、平成18年度に測量を実施し、今後線形等の検討を行っていきたいと考えている	現在、京セラ第2工場したの計画区間を20年度までの予定で整備中。ご指摘の箇所は、都市計画決定は、なされているが、事業化に至っていない。				

平成17年度 川内中央中校区ふれあい市民会議（2月2日開催） 進捗状況一覧

議題	地区	議題内容	所管課	回答概要	進捗状況（H17年度末）	進捗状況（H19年度末現在）	地区 振興	H1 8当	H2 0当	完結 分
1	平佐東	元第7分団は合併後4詰所を一元化し、消防活動を行っている。今後消防格納庫と詰所を一体化して、平佐東地区コミュニティセンター横に移転する方向で協議を行っている。早期にこれら移転に伴う消防格納庫及び詰所の建設に、ご配慮をいただきたい	消防局	中央大隊川内南方面隊平佐東分団は、平成16年6月21日に、平佐東校区第7分団消防詰所移転についての要望書を受け取っている。この要望書の趣旨を十分尊重しながら、効率的な消防団活動が展開できるように、車庫詰所等の施設整備を早い時期に進めてまいりたい	平成18年度事業により、完結済み					
2 (1)	平佐東	市道戸田・長野線は、中学校の合併に伴い改修工事を行うようになった。市が先行取得をした用地の選考整備を	建設整備課	市道戸田・長野線は、引き続き平成18年度から、未改良区間約410mを年次的に拡幅改良を実施したいと考えている	平成18年度から年次的に施工中である	平成20年度で完了				
2 (2)	平佐東	昭和62年に国鉄宮之城線が運行を終え、旧川内市がその用地の90%が道路として整備したが、地区内の670mあまりが未だ手付かずで残されている。樋脇・入来・祁答院方面からの通行量も多く、「中間道」として、是非早急に完成していただきたい	建設整備課	この区間は、抜本的な整備は行っていない。多くの事業費を必要とし、多くの課題を抱えている。この宮之城線跡地を道路として整備するほうがいいのか、それとも他に方法がないかということを含め、検討したい。なお、現在市道戸田・長野線の整備をしており、まずはそちらを優先的に整備したい	現在は予定していない	平成21年度調査を行なう予定。				
3	平佐東	飯母橋もかつての板橋から3代目だが、橋脚が高く洪水時に流木竹が流れを阻害し危険だ。調査し、改修計画を検討いただきたい	建設整備課	外見上異常は認められないが、建設から50年以上を経過していることから、順次、点検・調査等を実施し、必要であれば改修計画等を検討したい	現在は予定していない	橋梁長寿命化策定に向けた調査に入る予定（維持課）				
4	平佐東	寺山トンネルの掘削について、戸田橋の架け替えも完了し、市街地及び新幹線の利用も見込まれる。実施できるように要望する	建設整備課	連絡道路として寺山トンネルは重要だが、トンネルを掘るとなると総事業費60億円程度の費用がかかる。具体的な事業化は当面厳しい	現在は予定していない	構想が大きすぎ計画に至っていない。				
5	平佐東	東郷橋は老朽化がひどく補修の連続である。県道橋だが合併により市内の道路となったので、県へ改修の働きかけをお願いしたい	建設政策課	平成15年度に耐震補強工・落橋防止工等の工事を県で行っており、当面架け替えの計画は無いとのことであった。今後も県への働きかけたい	回答のとおり	回答のとおり				
6 (1)	平佐西	川内文化ホールは老朽化し、駐車場も狭いため、新たに駅東口に薩摩川内市全体の生涯学習のためのコミュニティの場を	文化課	いずれは新しく建て替えなければと思うが、新築となると莫大な経費を伴うため、現在の財政状況からは難しい。当面は川内文化ホールで対応したい	回答のとおり	H17年度末のとおり				
6 (2)	平佐西	現在ほとんど活用されていない産業振興センターギャラリー室を、高齢者のサロンや学生のための学習室等に利用したい。平佐西地区民がいつでも利用できるスペースにしてほしい	企業・港振興課 (H17商工振興課)	産業振興センターは、原子力発電施設等周辺地域特別対策事業交付金を財源として建設しているため、使用目的を容易に変更することは難しい。ただし、現在地区で利用されている研修室と同様、現況の展示ギャラリーに影響を与えない程度のスペース確保については差し支えないと考えている	回答のとおり					
6 (3)	平佐西	現在借りているゲートボール場・グラウンドゴルフ場が区画整理事業により撤去されるので公園を早期に完成させてほしい	建設整備課	三堂公園は平成25年度の完成を予定している。その他の公園は随時造成工事を行う予定で、完成した公園があるいは個人の土地を利用いただきたい	三堂公園は平成25年度の完成を予定している。その他の公園は随時造成工事を行う予定で、完成した公園があるいは個人の土地を利用いただきたい	三堂公園の基本計画策定中。				
7 (1)	平佐西	横馬場田崎線の工事を。災害時の緊急車両・大型重機・特殊機材等がガード下を通れず、空港バイパスに迂回しなければならない	都市計画課	線路から東側は鉄道の交差部・用地取得部分の工事・駅前白和線までの拡幅工事を行う予定。九州新幹線的全線開通に間に合うように整備をしたい	横馬場田崎線の鉄道交差部においては、平成19年度に測量設計に着手予定。今後、当該路線の工事計画にあわせて整備を進めたい	JRアンダーパスの測量設計中。20年度より用地交渉開始。				
7 (1)	平佐西	県道山崎・川内線（区画整理事業内）も交通量に見合った拡幅を行うよう要望する	都市計画課	県道山崎・川内線については、抜本的な対策はできないが、土地区画整理事業内にはいるところは、現道幅員で排水溝の整備、舗装の改修工事を行う計画	県と協議の上、平成19年度に整備予定である	関連する建物移転に期間を要したため、H19に実施できていない。				

平成17年度 川内中央中校区ふれあい市民会議(2月2日開催) 進捗状況一覧

議題	地区	議題内容	所管課	回答概要	進捗状況(H17年度末)	進捗状況(H19年度末現在)	地区 振興	H1 8当	H2 0当	結 分
7 (2)	平佐西	外環状道路の開通により、天辰地区の交通量が激増している。小・中学校の通学路にあたる部分もあり、早急に交通信号機・横断歩道・速度標識等の設置を要望する	建設維持課	横断歩道を3箇所に設置した。速度標識は県の公安委員会が設置をする予定。信号機は公安委員会と協議を行い早い時期に設置するよう今後も要望を行う	速度標識は、公安委員会が設置した。信号機については、今後も要望してまいります	横断報道及び速度制限の標識は、県公安委員会が設置いたしました。信号機につきましては、十字交差点の整備状況を見ながら県公安委員会へ要望してまいります。				
			防災安全課	この要望を警察に伝えるが、地域や地区コミで交通安全協会の支部や警察関係団体に地域の声として伝えれば、より効果が上がるのではないかと	回答のとおり <参考> ・H18.9 道路診断 市道平佐・吉野山線横断歩道設置要望 ・H18.4 道路診断 永利・天辰線 横断歩道設置要望 (道路診断：警察署、道路管理者(県・市)、交通安全協会 協議によっては、警察を通じて県公安委員会へ横断歩道、信号機等の設置を上申)					
7 (3)	平佐西	区画整理事業2工区の離合場所の増設を。坊ノ下自治会内の市道は車の離合が困難で対向車が来ると庭先や畑等に退避せざるを得ない	天辰区画整理推進室	この地域は土地区画整理事業の予定で、道路整備は計画していない。事業の完成までには相当の年数が掛かることから車等が離合出来る場所を計画したい	現地調査を行い、必要箇所については把握している。離合場所の整備は、天辰第一地区内の土砂流用で考えており、実施時期の調整を図っているところである	現地調査結果に基づき、H19年度までに1箇所は設置済み、1箇所については関係者の同意が得られず出来なかった。今後も必要箇所に関係者の協力が得られる箇所から、第一地区内の流用土を利用して実施したい。				
7 (4)	平佐西	外環状道路の県営住宅前にくるくるバスの停留所を設けてほしい。現在の中央表門の停留所ではなく、裏門に停留所を設けてほしい	商工振興課	平佐・喜入・天辰・田崎・三堂などの地域は交通空白地域であるという調査の結果もでている。将来的にくるくるバスとは別の新しい路線を検討したい	昨年11月8日から市街地南部循環線のコミュニティバスの運行を行い、交通空白地域のは正を図っている					
8	平佐西	有線放送の整備を早急に進めるため有線放送施設設置事業補助金の補助比率の引き上げや着工時の一時金等の制度を創設する考えは	防災安全課	市内の全家庭にできるだけ早い期間に整備をと考えている。補助比率の引き上げ、着工時の一時金等の制度は二重投資となるので慎重に検討している	市では防災行政無線のデジタル化を平成19年度より実施する。デジタル化に伴い、地区コミや自治会からも情報伝達手段として利用可能なものを検討している	市においては、今後、有線放送設備の整備について、促進していく考えはありません。平成20年度から、防災行政無線を、デジタル方式で整備し、整備期間には、複数年度になりますが、市内全戸を対象に、屋内で防災・行政情報を聞くことのできる戸別受信機を設置していくこととしており、自治会放送の可能な機器の設置を予定しています。				
8	平佐西	防災行政無線の経費はどうか。市が全部負担するのか、住民の負担がでてるのか	防災安全課	防災行政無線の経費については、市の負担で考えている	防災行政無線の経費については、市の負担で考えている	防災行政無線設備の整備につきましては、戸別受信機の設置を含め、全額市の負担で整備することとしております。				
9	平佐西	コミュニティ組織が整備されつつあるが、自治会未加入者も多く、ゴミ問題などで支障がでている。今後のコミュニティ活動に支障をきたさないために、ゴミ対策及び自治会加入へのある程度の強制力を持った方策を考えていただきたい	コミュニティ課	方策を打っているが、自治会の加入はあくまでその地区に居住する住民が自主的な発意に基づいて加入をするもので強制力をもった加入策というのは困難	自治会加入については、強制力がなく、転入転居者への自治会案内、未加入者へハガキ通知等により、加入促進を図っている	自治会加入については、強制力がなく、転入転居者への自治会案内、未加入者へハガキ通知、市民課窓口での加入促進チラシの配布等により、加入促進を図っている。				
			環境課	未加入者にゴミ出しの協力金への負担の例もあるが一部のゴミ出しルールが悪く迷惑をかけている実態もあるので、マナーの徹底について周知を図りたい	未加入者のゴミ出しについては、引き続きマナー徹底の周知を図りたい。また19年度は公設ごみステーションの設置を行い未加入者の対応を行いたい。転入者に対しては窓口でゴミの出し方について周知を図りたい	未加入者のゴミ出しについては、公設ステーションを市内5カ所に設置し対応を行った。また、未加入者のゴミの出し方については、引き続きマナーの徹底を図りたい。転入者については、窓口でゴミの出し方について周知を図っている。				
10	川内	川内小学校校舎を改修ではなく全く新しい形の学校、モデル校として抜本的な新築を。セキュリティの強化として新築はどうか	教育総務課	合併に伴い学校の校舎等の実態調査と耐震化の調査を行う予定であるので、この調査結果を踏まえながら、川内小学校の校舎についても検討していく	H19年度に耐震診断、老朽化対策の設計業務委託。H20～H21年度、大規模改修工事。現在、国において既存の校舎を安易に解体することなく改修して使用するよう指導している。川内小の校舎は、耐用年数に達していないため、解体新築ではなく、既存校舎の骨組みを残し、全面内外装改修とする	耐震診断・補強改修設計済				

平成17年度 川内中央中校区ふれあい市民会議（2月2日開催） 進捗状況一覧

議題	地区	議題内容	所管課	回答概要	進捗状況（H17年度末）	進捗状況（H19年度末現在）	地区 振興	H1 8当	H2 0当	完結 分
1 1	川内	児童の通学時の安全が懸念される中、今後、実施されるくるくるバスを有効利用できないか。くるくるバスの運行経路が、通学路と重なっているような児童に対して、定期券を発行するなどして、安心して登下校のできる環境づくりをしてほしい。	商工振興課	くるくるバスの有効利用や定期券の発行等については、規制緩和など政府の動きを見極めながら、関係各課と連携を図り、検討していきたい	川内地区においては、くるくるバス及び路線バスを引き続き通学では利用していただきたい	左記同様				
			学校教育課	川内地区ではくるくるバスの他多数の路線バスが運行されており、通学でバスをご利用いただきたい。宮里方面はくるくるバスとは別の循環路線を検討中	川内地区においては、くるくるバス及び路線バスを引き続き通学では利用していただきたい		川内地区においては、くるくるバス及び路線バスを引き続き利用していただきたい。なお、定期券の発行等は考えていない。			
1 2	川内	国道3号を毎月2回歩行者天国として様々なイベントを開催し、市の中心市街地にふさわしい集客を図り、賑わいのある商店街を	商工振興課	将来的は南九州西回り自動車道や外環状道路の完成等道路事情や車の流れが変わることも考えられる。具体的な計画の出た段階で可能な限り対応したい	国道3号の歩道部分の占用等を行い、きやんせふるさとフェスタ等を実施し賑わいのある商店街づくりを行っている	国道3号が国直轄の幹線国道であることから、現時点では、交通管理者である警察、道路管理者である国が、許可する可能性は極めて低い。ただし、今後の南九州西回り自動車道の整備後に備えて、必要な情報収集に努めたい。				
その他		市街地活性化の対策等を設けて重点的にやっていただけないか。商店街自体が疲弊しており、自力というのがどうしても難しい	商工振興課	合併に伴い、人員も削減する計画でやっているけれども、商店街の活性化については再検討していかなければならないとは私も思っている	国道3号の歩道部分の占用等を行い、きやんせふるさとフェスタ等を実施し賑わいのある商店街づくりを行っている	中心市街地活性化法に基づく薩摩川内市中心市街地活性化基本計画を策定中であり、計画に基づき中心市街地の活性化を図っていく予定である。				
その他		行政に横文字が多くなった。横文字が定着するまでは、かっこ書きで日本語でも書いてほしい。丁寧な書き方をしていただきたい	文書法制室	気をつけているつもりだが、今後十分気をつけて、横文字を使わなければいけない場合は注釈をつけてやるように心がけてまいりたい	平成18年12月に「わかりやすい公文書を目指して」を作成し、全職員に周知を図った。その中で、横文字については安易に使用せず、使用した際には、必要に応じ説明や注釈をつけることとしている	公文書作成に当たっての指針「わかりやすい公文書を目指して」の周知を図り、横文字の使用については必要に応じ注釈等をつけるように努めている。				
その他		お偉方に山形屋などで企業研修を受けてもらいたいイメージを変えてほしい。市民に接するときの笑顔とか、そういうところから	総務課	私も常に笑顔で応対し市民の皆さん方の視線と一緒に話をするように指導しているが、まだ足りないので反省し職員の研修・接遇はなお一層努力をしたい	平成17年度から接遇研修を実施している。特に平成18年度からは「さわやか挨拶運動」を実施し、市民に対するさわやかな挨拶の徹底を指導した	職員の接遇能力を高めるために職員研修の一環として、外部講師による「接遇」研修を平成17～19年度に実施した。また、平成18年3月「薩摩川内市職員人材育成基本方針」を策定し、常に職員は、全体の奉仕者としての意識を持ち、市民を愛し、懇切丁寧に接するよう指導している。				

平成17年度 川内南中校区(2月17日開催) 進捗状況一覧

議題	地区	議題内容	所管課	回答概要	進捗状況(H17年度末)	進捗状況(H19年度末現在)	地区 振興	H1 8当	H2 0当	完結 分
1	隈之城	市道赤沢津～宮崎～勝目団地に至る区域は、道路幅が狭く事故につながる恐れがある。早急に道路の幅改良をお願いしたい。	建設維持課	3箇所幅の要望があり、2箇所は用水路に蓋をする事で解消出来るが土地改良区及び耕作者との協議が必要。1箇所は内カーブ側の取得で幅が出来る	この路線については、現在カーブの箇所の検討をしており、測量等の委託を行う準備をしている	ぎんや歯科先について、道路幅の測量設計業務委託を実施した。				
2	隈之城	山間部(青山林道・永野段市道)に電化製品などの投棄が絶えないので、対策を。いちき串木野市不法投棄についての相互対策を	環境課	監視パトロールを行い、不法投棄物の回収は、地域との協働で取り組んでまいりたい。いちき串木野市とも情報交換を行いパトロールの強化を図りたい	青山林道については、平成19年2月4日(日)に地元で撤去された大量のごみを、2月5日～6日までの間で市で回収(4.620kg)し、地域と連携を図った。今後も引き続き対応を行いたい	隈之城町、中福良町の陸上自衛隊の入口や永野段を中心に山林の不法投棄物の撤去を2月17日(日)に約130名で実施され、約8トンの不法投棄ごみを回収した。回収したごみは2月18日～19日に市で川内クリーンセンターに搬入し処分を行った。今後も地域と連携してごみの不法投棄防止活動を継続したい。				
2	隈之城	防止柵についての回答が無かったように思う。原材料を支給していただければ地元でやってもいいと考えている	環境課	道路の脇に鉄線を張ることも必要かもしれない。環境美化推進条例でも罰金をもうけているが、それでも不法投棄をされる状況。パトロールを徹底したい	引き続きパトロールに努める。防止柵については衛自連事業で「民有地不法投棄復旧・防止補助金」があり、経費の8割補助で5万円程度の補助制度がある。こちらの補助制度を紹介したい	防止柵については衛自連事業で「民有地不法投棄復旧・防止補助金」があり、経費の8割補助で5万円程度の補助制度があるので、補助制度を活用いただきたい。また、不法投棄の多い場所については、引き続きパトロールに努めたい。				
2	隈之城	市の条例で、罰則を重くできないだろうか。条例の施行の仕方である程度は不法投棄を緩和できるのではないかと。	環境課	罰則は検察庁と協議をしなければならぬ。現在の罰金も全国の状況等を見ながら定めているので、特別に重くするという事はできない。	悪質な不法投棄については、警察に連絡している。平成18年度は9件を連絡し、うち5件が氏名が判明したため、投棄者による撤去及び始末書扱いとなった	悪質な不法投棄については、警察に連絡している。平成19年度は7件を連絡し、うち5件が氏名が判明したため、警察による厳重注意と投棄者によるごみの撤去を行わせた。				
3	隈之城	セントピアには調理室が無くすこやかふれあいプラザと自治会館を利用している。調理室の横に和室を設ければ、利用価値が広がる	コミュニティ課	老朽化等による修繕・補修は毎年調査し危険性・緊急性を考慮し対応している。隈之城地区は大規模地区なので早急に施設整備について調査したい。	平成19年度改修予定	平成20年度に増築予定である。				
4	隈之城	セントピアは施設管理がまちづくり公社だ。地区1万2千余の住民の協働と融和のひとつの目標として、地域に施設管理を	コミュニティ課	平成18年度中に隈之城地区コミュニティ協議会の管理能力が高まったと判断できれば、平成19年度の指定管理者としての検討もできるのではないかと	セントピアは、体育館等を有する全市民対象の大規模の生涯学習施設である。施設の利用率は高く、窓口を含め管理には常時の対応が必要である。指定管理については、そのような体制が整った団体としたい	セントピアは、全市民を対象とする、体育館等まである大規模の生涯学習施設であって施設の利用率も高く、窓口を含めた管理には常時の対応が必要な施設である。セントピアの指定管理については、今後もそのような体制が整った団体としたい。				
5	隈之城	一角池周辺に、水と緑に囲まれたすばらしい自然環境と景観を生かした「市民いこいの広場」となるような公園を	耕地課	一角池は農業用溜池であり公園の整備のみは行えない。将来的に農業用溜池としての必要がなくなれば整備していく方法もあるが、現在の状況では困難	回答のとおり	H17年度末と同じ				
6	永利	永利タイヨー付近より百次町を通り、隈之城大原野付近から隈之城インターへと計画予定のある道路について、早期着工を	建設政策課	本路線の百次町方面への延伸は現時点では構想段階で事業化の計画はない。状況を見ながら外環状線の必要性などについて判断をさせていただきたい。	回答のとおり	回答のとおり				
7	永利	現在、医師会立市民病院付近で建設を中断している横井線の道路を今後整備していただきたい。	建設整備課	市民病院から道路を延ばし幹線道路と繋ぐと通過交通や大型ダンプ等が通る。市民病院や福祉の里の前に産業道路を通すことが良いのか検討が必要	整備順位の整理をお願いしたい	計画されていない。				
7	永利	また、永利地区の生活基盤となる横井・大原野線の新設を検討していただきたい。	建設整備課	市道百次・山田線を整備中であり、平成18年度完成を目指している。大きな構想の道路も必要だが、生活道路が整備されていないところが多くある。	整備順位の整理をお願いしたい	計画されていない。				
8	永利	現在永利小学校の体育館は老朽化が著しく行事等の際には寒い。一刻も早く新しい体育館を建設し行事等が支障なく実施できる状態に	教育総務課	市町村合併に伴い、小・中学校全てについて体育館を含めた校舎等の実態調査及び耐震化優先度調査を実施する予定。この調査結果を踏まえ検討していく	屋内運動場の基本調査において、老朽化による改築等の優先度が高い。実施計画において、予算要求していきたい	計画されていない。				

平成17年度 川内南中校区(2月17日開催) 進捗状況一覧

議題	地区	議題内容	所管課	回答概要	進捗状況(H17年度末)	進捗状況(H19年度末現在)	地区 振興	H1 8当	H2 0当	完結 分
9	永利	現在、永利地区コミュニティ協議会環境整備部において、日笠山観音付近に本年度からアンサイの苗1,000本を5カ年計画で植樹し、公園整備を進めている。市でも、登山道路や展望台等を建設し、市の公園として整備していただきたい。	林務水産課 建設整備課	林道日笠山線は補修できるが、日林道から日笠山観音付近までの未舗装部分は林道としての整備はできないが、生コンなどの原材料支給は可能。 この道路は日笠山観音への参拝や初日の出等に活用されていると聞いているが、今後この公園の利用が盛んになるようであれば整備について検討したい。	現在のところ要望はない。 今後も、生コンなどの原材料支給の要望があれば対応していきたい 様子を見たい	現在のところ要望はない。 今後も、生コンなどの原材料支給の要望があれば対応していきたい 公園事業としての計画はない。				
その他		木場茶屋・都線について市で用地買収ができないのであれば、自治会から話をしにいて用地買収がスムーズに進むよう協力する	建設整備課	用地買収については、ぜひ地元の方の御協力をいただきたい。今年の3月までにはできるか分からないが、できるだけ早く進めていく	平成18年度完了	平成20年度バイパスから尾白江・木場茶屋線まで追加施工中。				
その他		合併し、市章、市民憲章、市花、市木等が早速決まって嬉しい限りである。新しい薩摩川内市にふさわしい市民歌をつくってほしい。	社会教育課	できるだけ早い時期に市民歌を制定できるように努力してまいりたい。	市制誕生5周年である平成21年度制定の方針現在、制定に向けた作業を開始	市制誕生5周年である平成21年度制定の方針現在、制定に向けた作業を開始				
その他		中央公民館2階の大研修室がアスベストで使用できない。現在、調査はどのような状況なのか、いつからまた使えるようになるのか	社会教育課	中央公民館の大研修室の状況については、現在設計が終わり、入札の手続きをしているところである。5月末の完成をめどに進めているところである。	平成18年度完了	平成18年度完了				
その他		杉の木が国の天然記念物であるオガタマの木にっついており、オガタマの木を痛めている状況。行政でなんとかかしていただけないか	文化課	オガタマの木として国の天然記念物に指定されているところの土地が民有地であるので、早速文化課で調査し、対応してまいりたいと思っている。	伐採を実施した	H17年度伐採済み。				
その他		未加入者対策は、自治会でも自助努力をしている。自治会の加入促進対策について、どうかお願いしたい。	コミュニティ課	転入の方は市民課の窓口で加入をお願いしている。未加入の方々にも、加入促進のハガキを送付している。広報紙掲載も含め自治会加入促進を徹底したい	転入・転居者について、自治会の加入案内、未加入者へハガキ通知、宅建業者への依頼等により加入促進を実施していますが、市全体の加入率は、前年度比較をすると、横ばい状況です	これまでも未加入者対策として、加入案内や未加入者へのハガキ通知等を行い、加入促進を行っている。今後も加入率増を目指し、未加入者対策の検討を行っていただきたい。				
その他		ふれあい市民会議が開かれ大変有意義なことと思う。陳情・要望などの手段があるが、これらの取り扱いはどうされているのか	広報室	広報室で陳情・要望、請願、ご意見箱、市政モニター制度をやっている。決裁を受け回答するためなるべく時間がかからないような方法でやっている	回答の通り	回答のとおり				
その他		もう2年近くになるが隈之城麓地区の踏み切りについて陳情、請願を出しているが、正式な回答をおらず、遮断機だけはついた	建設維持課	陳情は回付し主管課に手続きをとるようにしてあったと記憶している。早速JR九州にお願いをし遮断機をつけていただいた。後日御連絡申し上げます。	状況を見ながら、拡幅については検討してまいります	引き続き状況を見ながら、拡幅については検討してまいります				
その他		JRではなく、市が踏切付近の道路の整備等を行ってほしい。小中学生だけで120数名の生徒の通学路になっている	建設維持課	陳情を受け、JRにお願いし踏切を改良することになったと記憶している。国、JR、市が三分の一の負担で改良している。道路の拡幅は非常に難しい	左記の通りであり、現段階では難しい	左記の通りであり、現段階では難しい				
その他		都インターが開通するのにあわせアクセス道路として、都～青山～百次線の整備をするという話だった。市道の整備は進んでいるのか	建設整備課	西回り高速自動車道の都インターの開通に合わせて、国道バイパスを4車線にする工事を行っている。その後従来の国道3号は県道と市道へ委譲される予定	都交差点から百次町県道川内郡山線までの市道百次・青山線は、2車線の改良済みであり、今後の対応としては、区画線設置等による交通安全施設整備で対応してまいりたい。なお、交通量調査等も実施予定である。	維持的整備中				
その他		勝目橋の拡幅工事と歩道について、本格的な歩道設置ではないので、今後本格的なものを設置する予定があるのか。	建設維持課	勝目橋は拡幅に億単位の金がかかるのでいかにして補強しながら使っていくかという結論になり、歩道の設置ができなかったという状況である。	左記の通りであり、現段階では難しい	左記の通りであり、現段階では難しい				
その他		道路の問題を市役所に話をしにいくと予算がなくまわってこないと回答された。少しでも多くの予算を道路にまわしていただきたい	財政課 (財務課)	地方交付税を国が決定するのが7月なので、もし、当初予算で見積った額よりも多ければ道路維持の予算に回さなければいけないと思っている。	普通交付税が当初予算を53百万円上回り、道路維持費を150百万円増額補正した	市民からの要望の高い市道の整備については、可能な限り予算計上している。 道路維持費(工事請負費)決算額 H18 277,302,386円 H19 374,991,015円 H20 388,738,000円(予算)				